

Travelport Rapid Reprice™

ワールドスパン ユーザーズガイド
(日本語訳版)

目次

TRAVELPORT RAPID REPRICE とは？	3
特徴	3
対応していない項目.....	3
RAPID REPRICE のプロセス	4
ステップ 1 – PNR を表示し必要な変更を行なう.....	4
ステップ 2 – 交換発行プロセスを開始する.....	4
2.1. エントリとオプション.....	4
2.2. ETR の確認.....	5
2.3. 旅程の確認.....	7
ステップ 3 – テンプレートデータの確認.....	8
3.1. テンプレートプロセス例 - (追徴金ありの例).....	9
3.2. その他のプロセス画面.....	14
3.2.1. 「Old Data」画面.....	14
3.2.2. 「Supplemental Tax」画面.....	17
3.2.3. 「Surcharges」画面.....	17
ステップ 4 – 結果の保存.....	18
ステップ 5 – 新しい航空券の発券.....	20
その他の例題.....	21
6.1. 払い戻しのプロセス.....	21
6.2. 一部使用済み航空券の交換発行.....	25
BSP での必須事項	28
7.1. BSP 用にマニュアルプライシング(RDP)の自動化.....	28
7.2. 追徴金徴収.....	28
7.3. 追徴金とペナルティチャージ.....	30
7.4. 払い戻しのプロセス.....	31
7.5. 払い戻しとペナルティチャージ.....	32
7.6. BSP 用「Exchange Element」画面へのデータ入力.....	34
7.7. 自動的に作成されたドキュメントインストラクションライン (4-DI).....	35
7.8. 変更手数料と残存額の PNR リマークス.....	36
7.9. IATA の標準フォーマットではないペナルティチャージ額.....	37
7.9.1. 交換発行により運賃差額とペナルティの徴収が必要な場合の例.....	37
7.9.2. 交換発行により運賃差額の徴収が必要でペナルティがない場合の例.....	40
7.9.3. 交換発行により運賃差額の徴収がなくペナルティが必要な場合の例.....	42
7.9.4. 交換発行により運賃差額の払い戻しとペナルティ徴収が必要な場合の例.....	44
7.9.5. 交換発行により運賃差額の払い戻しが必要でペナルティは不要の場合の例.....	46
その他の情報	48
8.1. ロケーションによる制限.....	48
8.2. Tag プロセス.....	48
8.3. コンジャンクションチケット番号.....	48
8.4. 複数の E チケットレコード.....	48
8.5. プライシングインストラクション (PI).....	49
8.6. ウェイバープロセス.....	49
8.7. エラーレスポンス.....	50
8.8. 通貨の上書きオプション.....	50
8.9. PTC を無効にするオプション.....	50
よくある質問	52

TRAVELPORT RAPID REPRICE とは？

Travelport Rapid Reprice (以下 Rapid Reprice) は、旅程変更の際の航空券の交換発行を行なうツールです。Rapid Reprice の機能は航空会社が ATPCO のカテゴリ-31 “Voluntary reissue” にファイルしているデータに基づいています。Rapid Reprice に参加している航空会社のファイリングに基づき Rapid Reprice は E チケットの交換発行プロセスを自動的に行ないます。Rapid Reprice は変更後の旅程を過去と現在の運賃データ、運賃ルールを元に運賃計算を行い、追徴金・変更手数料・ペナルティなどを含めての結果を表示します。現在 Rapid Reprice に参加している航空会社は > INFOREISSUEPART ページで確認できます。

特徴

- 旅客の都合による経路変更(Voluntary Rerouting)をした際に自動的に航空券の交換発行を行います。
- ワールドスパンのシステムで作成された PNR が対象となります。
- Rapid Reprice は以下が対象になります。
 - カテゴリ-31(Voluntary Changes) データを含んで ATPCO にファイルされているすべての公示運賃。
 - カテゴリ-15,25,35 を含み、カテゴリ-31(Voluntary Changes) データを含んで ATPCO にファイルされているプライベート運賃。
 - E チケットにのみ対応。
 - インターライン旅程の場合、1 社以上の航空会社がカテゴリ-31 データをファイルしていれば対象となり、Rapid Reprice での交換発行はオリジナルのプレートキャリアをバリデーティングキャリアとする。
 - コードシェアの旅程はすべてのマーケティングキャリアが Rapid Reprice 参加航空会社であれば可。
 - BT/IT 航空券。
 - 未使用航空券・一部使用済み航空券。
 - 1 つの記録に 4 つの PTC (Passenger Type Codes) まで。
 - 1 つの記録に 9 名まで。
 - 1 つの記録に 16 セグメントまで。

対応していない項目

- Rapid Reprice で対応していない項目は以下のとおりです。
 - 航空会社都合による経路変更(Involuntary change) が起きた際に、旅客が旅客都合による経路変更(Voluntary Change)を行なわなかった場合の自動的な交換発行プロセス。
 - Rapid Reprice に参加していない航空会社で発券された航空券。
 - ネット精算運賃。
 - C/ グループタイトルのついた PNR。
 - ウェイティングセグメント。
 - 2 回目以降の交換発行。

RAPID REPRICE のプロセス

Rapid Reprice は5つのプロセスにより行ないます:

1. PNR を表示し、必要な変更を行なう。
2. 簡単なエントリで交換発行のプロセスを始める。
3. テンプレートのデータを確認する。
4. 結果を保存する。
5. 新しい航空券を発券する

ステップ 1 – PNR を表示し必要な変更を行なう

PNR を表示します。

エントリ : >*ABC123

レスポンス :

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
1 XX 959Q 15OCT MO LHRORD HK1 1540 1821
2 XX 958Q 22OCT MO ORDLHR HK1 1611 0555
P- 1.W2S 816 891-5000T/WSPAN TRNG LAB/ ROBIN
T- 1.T/07MAR0913 1P/W2S/BB*E0001528109032 I123555 *I
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ : >X2#0/23OCT

レスポンス :

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
1 XX 959Q 15OCT MO LHRORD HK1 1540 1821
2 XX 958Q 23OCT TU ORDLHR HK1 1611 0555
P- 1.W2S 816 891-5000T/WSPAN TRNG LAB/ ROBIN
T- 1.T/07MAR0913 1P/W2S/BB*E0001528109032 I123555 *I
```

Note: Rapid Reprice は交換発行のプロセスを始める前に変更した旅程の PNR を EoT する必要はありません。Rapid Reprice のプロセスはテンプレートが表示されている段階でもいつでも中断することができます。テンプレートが表示されている時に PNR を中断(Ignore) すると PNR は旅程変更前の状態に戻ります。

ステップ 2 – 交換発行プロセスを開始する

2.1. エントリとオプション

交換発行のプロセスは「その運賃クラス」のままか、「より低い運賃」を検索して開始できます。

説明	エントリ
予約されている運賃クラスのまま Rapid Reprice を開始	4P-AR
より低い運賃検索で Rapid Reprice を開始	4PLFB-AR

Rapid Reprice には下記の運賃計算オプションを加えることができます。これらのオプションは組み合わせが可能ですが、他の運賃計算オプションと合わせて使うことはできません。

説明	エン트리
運賃タイプ：NP	4PLFB-AR#FNP
カスタムディスカウント	4P-AR#FEX/-10/TKTDSG
ATPCO SecuRate	4P-AR#FSR
航空券番号	4P-AR#0001589766512
既存のチケットレコードの上書き	4PLFB#TR

BSP 特記事項

上記の運賃計算オプションに加えて、BSP の国では IATA の標準フォーマットではない Rapid Reprice のプロセスで、ペナルティチャージ額の徴収とレポートができる下記のオプションがあります。（7.9 参照）

説明	エン트리
運賃総額にペナルティ額を加える	4PLFB-AR#NI1
ペナルティ額を XP タックスとする	4PLFB-AR#NI2
ペナルティ額を指定された 2 文字のコードとする - 'xx' は航空会社によって指定された 2 文字のコード	4PLFB-AR#NIxx

IATA の標準フォーマットではないオプションは上記の Rapid Reprice の運賃計算オプションと組み合わせることができますが、その他の運賃計算オプションと同時に使用することはできません。

2.2. ETR の確認

Rapid Reprice での交換発行では有効な ETR が存在しているかを確認する必要があります。有効な ETR は以下のいずれかです：

- 表示されている PNR（旅程が変更され新しい予約を入れたもの）に付随している ETR。
- または、表示されている PNR（新しい PNR に新しく予約を入れたもの）に付随していない ETR。

表示されている PNR に付随している有効な ETR の場合、Rapid Reprice は交換発行プロセスの際に自動的にオリジナルの航空券データを組み込みます。

表示されている PNR に有効な ETR が付随していない場合、Rapid Reprice を開始する際にエラーが表示されます。 ETR DOES NOT EXIST - USE E-TKT NBR OPTION OR PROCESS MANUALLY

PNR に複数の ETR が付随している場合、Rapid Reprice は自動的にどの ETR が有効であるかを判別してプロセスします。

複数の有効な ETR が PNR に付随している場合は、どの ETR を交換発行するのかを指定して交換発行プロセスを始めなければなりません。

表示されている PNR に付随している ETR のリストを表示するには >*ETA を入力します。

エントリ : >*ETA

レスポンス :

```
ETA- ELECTRONIC TICKET ACKNOWLEDGEMENT/AUTHORIZATION
      1.XX I 07JAN13 144352 ETR 0007381223727 - BARCUS/JOELLY
      2.XX I 14JAN13 130031 ETR 0007398099010 - BARCUS/JOELLY
```

それぞれの ETR が有効であることを確認するには、>ETR の後に項番を入れて入力します。

エントリ : >ETR1

レスポンス :

```
TICKET E0007398099010      BARCUS/JOEL      33QHEP/XX/O1D 5252732
CPN FROM/TO FLT      DATE      FBC      STATUS
1      MCI MSP XX1534 02FEB13  T14ELNR9      OPEN FOR USE
2      MSP CWA XX3227 02FEB13  T14ELNR9      OPEN FOR USE
3      CWA MSP XX3087 06FEB13  T14ELNR9      OPEN FOR USE
4      MSP MCI XX2153 06FEB13  T14ELNR9      OPEN FOR USE
```

- ・ Rapid Reprice で交換発行のプロセスをするには、クーポンは「OPEN FOR USE」のステータスでなければなりません。
また、クーポンのステータスが「AIRPORT CONTROL」だった場合は、そのセグメントの出発の 24 時間前までは Rapid Reprice で交換発行のプロセスができます。
- ・ 複数の有効な ETR が PNR に付随していて、どの ETR を交換発行するのかを指定して交換発行プロセスを始める場合、当該の ETR 番号を Rapid Reprice の交換発行のエントリに入れなければなりません。
エントリ : >4PLFB-AR#0007381223727
- ・ 複数の有効な ETR が PNR に付随していて、どの ETR を交換発行するのかを指定せずに交換発行プロセスを始めた場合、下記のエラーが返ります。
MULTIPLE ETRS EXIST – USE TICKET NUMBER OPTION
- ・ 新しい PNR に新しく旅程を入れ、ETR がその PNR に付随していない場合、Rapid Reprice で交換発行プロセスを始めるエントリに当該の ETR 番号を入力しなければなりません。
エントリ : >4PLFB-AR#0007381223727
- ・ 新しい PNR に新しく旅程を入れ、ETR がその PNR に付随していない場合、Rapid Reprice で交換発行プロセスを始めるエントリに当該の ETR 番号を入力しなかったら、下記のエラーが返ります。
エントリ : >4PLFB-AR#00073
レスポンス : VERIFY TICKET NUMBER
- ・ ETR 番号を入力するエントリでは、その ETR の旅客名が PNR の旅客名と同一でなければ下記のエラーが返ります。
エントリ : >4PLFB-AR#0127381223333
レスポンス : UNABLE TO PROCESS – NAME FIELD MISMATCH
- ・ 新しい PNR に新しく旅程を入れ、ETR がその PNR に付随していない場合、Rapid Reprice で交換発行プロセスを始めるエントリに有効ではない ETR 番号を入力しなかったら、下記のエラーが返ります。
エントリ : >4PLFB-AR#
レスポンス : UNABLE TO PROCESS - VERIFY FLT COUPON STATUS IN ETR

2.3. 旅程の確認

Rapid Reprice を開始するにあたり、システムは自動的に交換発行をする航空券を確認します。もし条件が合っていなければ下記のエラーが表示されます。

エラー表示	説明
CARRIER NOT AN AUTOMATED REISSUE PARTICIPANT - PROCESS MANUALLY	Rapid Repriceに参加していない航空会社の旅程
INELIGIBLE ITINERARY - PROCESS MANUALLY	複数の航空会社が旅程に含まれている
COUPON STATUS MUST BE THE SAME FOR ALL PASSENGERS	EチケットクーポンステータスがETRのすべての旅客で同じではない
ALL SEGMENTS MUST BE BOOKED ON THE SAME CARRIER	PNRのすべてのセグメントが同じ航空会社に予約されていない
UNABLE TO PROCESS - REISSUE LOCATION NOT VALID	Rapid Repriceの使用が許可されていない店舗でRapid Repriceのエントリを使用した
FARE NOT VALID FOR AUTOMATED REISSUE - PROCESS MANUALLY	オリジナル航空券が“FREE”(0バリュー)である
UNABLE TO PROCESS - VERIFY FLT COUPON STATUS IN ETR	ETRのすべてのセグメントが“Flown”, “Refunded”, “Voided” または“Exchanged”になっている
UNABLE TO PROCESS - NAME FIELD MISMATCH	ETR番号を入力するエントリで、ETRの旅客名がPNRの旅客名と同一でない
GROUP PNR - PROCESS MANUALLY	グループPNR (C/-) は対応不可
NEED 13 DIGIT TICKET NUMBER	Eチケット番号の入力で13桁以下の番号または有効でない番号が入力された
VERIFY TICKET NUMBER	ETRのステータスが“OPEN FOR USE”のステータスではない
MULTIPLE ETRS EXIST - USE TICKET NUMBER OPTION	ひとりの旅客に対して複数のETRが存在している
MULTIPLE ETRS EXIST FOR PASSENGER NAME - SEE >INFO 4P-AR ERR1	複数の旅客に対して複数のETRが存在している
MULTIPLE TICKETS NOT ALLOWED	二つ以上の航空券番号が入力されている
NUMBER IN PARTY NOT THE SAME IN ALL SEGMENTS	PNRの旅客数と予約した座席数が一致していないPNRに対してRapid Repriceのエントリが入力された
PASSENGER NAMES AND ETRS ARE NOT EQUAL - SEE INFO ERR2	複数の旅客名があるPNRのETRが旅客数と合っていない
E-TKTS MUST BE PRICED/ISSUED ON SAME DAY-SEE >INFO 4P-ARERR4	同日に運賃計算/発券されなかったPNR
UNABLE TO PROCESS - DUPLICATE SEGMENTS	同じセグメントに重複した予約があるPNR
NO VOLUNTARY CHGS MADE TO PARTIALLY USED TKT-PROCESS MANUALLY	一部使用済み航空券で旅程変更のないPNR

PI/S EXIST - USE TR PARAMETER OR REMOVE PI/S	PNRにPIが存在している
MULTIPLE TR/S EXIST - USE TR PARAMETER	PNRにTRが存在している
SECURED ETR - UNABLE TO RETRIEVE - PROCESS MANUALLY	>4PLFB-AR#TKTNBRのエントリを使用したか、その ETR にアクセスする権限がない
E-TKT NOT ISSUED IN WORLDSPAN - PROCESS MANUALLY	ワールドスパンで発券された E チケットではない
PAPER/PRINTED TICKET HAS BEEN ISSUED - PROCESS MANUALLY	ETR ステータスが"P(printed)", "T(paper)" である
OPTION INVALID FOR REISSUE PROCESS	有効ではないオプションが使用されている
E-TICKET NUMBER NOT VALID FOR CARRIER IN THE ITINERARY	PNR の旅程の航空会社と #TKTNBR オプションの ETR の航空会社が異なる
MULTIPLE FARE CONSTRUCTION EXIST - SEE >INFO	PNR の旅客毎の運賃データが異なる

Note: Rapid Reprice は発券日から 12 ヶ月以上の旅程の交換発行プロセスは自動的に制限をしますが、航空会社によっては現状の ATPCO のカテゴリ-31 では対処できない特別の航空券の有効期限の設定をしていることもあります。航空券が交換発行できるかどうかは、Rapid Reprice を使用する前にオリジナルの運賃ルールでの有効期限を確認してください。

ステップ 3 – テンプレートデータの確認

Rapid Repriceのエントリを入力すると必要項目を入力するいくつかのテンプレートが表示されます。PNR を表示し必要な変更を行い、Rapid Reprice での交換発行プロセスを開始すると、テンプレートに入力が必要な項目は自動的に入力されて表示されます。

「**Old Data**」画面 : プロセスがすべてのオリジナルの運賃データを認識できない時に表示されます。

「**Supplemental Tax**」画面 : Old Data 画面から表示され、確認のためのみ使用します。

「**Surcharges**」画面 : Old Data 画面から表示され、確認のためのみ使用します。

「**Revised Itinerary**」画面 : ETR のステータスの確認をします。

「**Final Results**」画面 : 新しい航空券情報と必要な追徴金・払い戻し・ペナルティを表示します。

「**Additional Collection**」画面 : Final Result 画面から表示され、追徴金の支払いの入力をします。

「**Exchange Element**」画面 : 交換発行のレポートに必要な追加データの入力をします。

3.1. テンプレートプロセス 例 – (追徴金ありの例)

- ・以下は Rapid Reprice で交換発行を行なった際に追徴金が発生した場合のテンプレートの例です。
この例でのオリジナル航空券は E チケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします。

PNR を表示し、必要な変更を行ないます。

エントリ : >*ABC123

レスポンス :

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
1 XX 565T 06FEB FR DTWMEX HK1 926A 125P/O
2 XX 564T 13FEB FR MEXDTW HK1 225P 738P/O
P- 1.W2S 816 891-5000T/WSPAN TRNG LAB/ ROBIN
T- 1.T/02FEB0913 1P/W2S/BB*E0001528109032 I123555 *I
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ : >X2#0/16FEB

レスポンス :

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
1 XX 565T 06FEB FR DTWMEX HK1 926A 125P/O
2 XX 564T 16FEB MO MEXDTW HK1 225P 738P/O
P- 1.W2S 816 891-5000T/WSPAN TRNG LAB/ ROBIN
T- 1.T/02FEB0913 1P/W2S/BB*E0001528109032 I123555 *I
```

交換発行のプロセスを開始します。

エントリ : >4PLFB-AR

レスポンス : 「Revised Itinerary」画面が表示

「Revised Itinerary」画面

「Revised Itinerary」画面は ETR のステータスを確認します。この画面は PNR に付随している ETR から表示され、この画面にデータを入力する必要はありません。

```
** REVISED ITINERARY SCREEN -REISSUE TEMPLATE **
NAME- WILSON/TEST*ADT 1/1
TKT NBR 0001528109032
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 0565T 06FEB DTWMEX 926A O
02 O XX 0564T 16FEB MEXDTW 225P O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
```

「ST」欄は ETR のステータスを表示しており、2 種類のコードがあります。

1. **F** : Flown (オリジナル航空券の Flown のセグメント)
2. **O** : Open for Use (変更後の旅程のセグメント)

下欄の「ACTION」欄には以下のオプション内から選択します。

Action フィールド	説明
C	入力されている情報を確定し次の画面を表示します。
R	直前のテンプレート画面に戻ります。
E	テンプレートを中断し PNR に戻ります。データはセーブされません。
H	テンプレートのそれぞれの欄の説明を表示します。
O	Old Data 画面を表示します。(Revised Itinerary 画面から)
D	それぞれの旅客の結果詳細を表示します。(Final Result 画面から)

上記の「ACTION」欄のオプションに加え、「I」(Ignore) を入力するといつでもそれまでの旅程変更を無効にして PNR を中断し、Rapid Reprice のテンプレートプロセスも中止されます。

「Revised Itinerary」画面は PNR のそれぞれの旅客に対して表示されます。次の旅客の画面に進むには「ACTION」欄に「C」を入力します。旅客が一人の PNR の場合や複数旅客の PNR のすべての「Revised Itinerary」画面の確認が完了して「C」を入力すると「Final Result」画面が表示されます。

「Final Results」画面

「Final Results」画面は、システムが「Revised Itinerary」画面から運賃の再計算のプロセスが完了したら表示されます。交換発行の結果は航空会社がファイルした ATPCO のカテゴリー31 の運賃計算プロセスに基づき、過去と現在の運賃データを使用しています。

「Final Results」画面に表示されるデータは新しい航空券に移行され、BSP レポートにも使用されます。この画面にデータを入力する必要はありません。

以下の「Final Results」画面の例では「ペナルティチャージ (USD100.00)」額が表示されています。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE                >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT USD      100.00
FARE DIFF USD                   0.00          CHANGE FEE USD      100.00

4PLFB-AR
* NON-REFUNDABLE//PENALTY FOR CHANGES
* PRICING RULES VALIDATING CARRIER DEFAULT XX
* SURCHARGE APPLIED *
** 06FEB DEPARTURE DATE/ 06FEB IS LAST DATE TO TICKET
SCROLL CMD(...)                ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

航空会社の ATPCO のカテゴリー31 のファイリングに基づき「Final Results」画面には以下のデータが表示されます。

- 「TOTAL ADD COLLECT AMT」または 「TOTAL REFUND AMT」
 - 運賃の差額 + 変更手数料/ペナルティ額。
- 「FARE DIFF」
 - オリジナル運賃と変更後の新しい運賃の差額。
- 「CHANGE FEE」
 - 航空会社によってカテゴリー31にファイルされたオリジナル航空券のペナルティ額。

➤ 「SCROLL CMD」

- 「SCROLL CMD」欄にコマンドを入力するとチケットレコードの運賃計算の情報など情報を表示をできます。
 - MD - 次ページへ
 - MU - 前ページへ
 - MT - 最初に戻る
 - MB - 最後に移る

例：

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT USD 100.00
FARE DIFF USD 0.00 CHANGE FEE USD 100.00

4PLFB-AR
* NON-REFUNDABLE//PENALTY FOR CHANGES
* PRICING RULES VALIDATING CARRIER DEFAULT XX
* SURCHARGE APPLIED *
** 06FEB DEPARTURE DATE/ 06FEB IS LAST DATE TO TICKET
SCROLL CMD(MD.) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT USD 100.00
FARE DIFF USD 0.00 CHANGE FEE USD 100.00

TICKET BASE USD TX/FEE USD TKT TTL USD
ADT01 419.00 95.44 514.44
*TTL 419.00 95.44 514.44

SCROLL CMD(MD.) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT USD 100.00
FARE DIFF USD 0.00 CHANGE FEE USD 100.00

*AS BOOKED
LOWEST FARE ALREADY BOOKED IN THIS COMPARTMENT
FBC ADT TWENR01
ADT DTT XX MEX Q30.00 179.50XX DTT Q30.00 179.50NUC419.00END
ROE1.00XX XT5.00XA2.50AY19.58UK24.66XD4.50XF DTW4.5
SCROLL CMD(MD.) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

どの画面からでも「MT」を入力すると最初の画面に戻ります。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT USD 100.00
FARE DIFF USD 0.00 CHANGE FEE USD 100.00

4PLFB-AR
* NON-REFUNDABLE//PENALTY FOR CHANGES
* PRICING RULES VALIDATING CARRIER DEFAULT NW
* SURCHARGE APPLIED *
** 06FEB DEPARTURE DATE/ 06FEB IS LAST DATE TO TICKET
SCROLL CMD(...) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

- 「ADDITIONAL DOCS Y/N (N)」
 - 交換発行により旅客からの追徴金が必要になる場合は、「FINAL RESULTS」画面に「ADDITIONAL DOCS」欄が表示されます。
交換発行がイーブンエクスチェンジまたは払い戻しが必要な場合には、「FINAL RESULTS」画面には「ADDITIONAL DOCS」欄は表示されません。
 - 「ADDITIONAL DOCS」欄に「Y」を入力すると「Additional Collection」画面が表示されます。

「Additional Collection」画面

「Additional Collection」画面を表示することで、追徴金徴収のためのドキュメント番号と金額を入力することができます。「Additional Collection」画面に自動的に入力されているデータや手入力で入れたデータは新しい航空券に移行され、BSP レポートにも使用されます。

下記は\$100 の追徴金が必要な例ですが、旅客は\$25 の MCO を持っておりそれを追徴金の一部に充当するため、\$75 が残りの追徴金となります。

```

** ADDITIONAL COLLECTION - EXCHANGE DOCUMENTS ** >VIEW
TOTAL ADD COLL 100.00
NAME- WILSON/TEST*ADT 1/1
TYPE (M) DOC (0001098765123X) CPN (1...) TTL USD (25.00...)
TYPE (.) DOC (.....) CPN (....) TTL USD (.....)
ACTION(C) C/CONFIRM R/RETURN E/EXIT H/HELP
  
```

「Additional Collection」画面のデータ入力フォーマット：

- TYPE
 - 追徴金徴収に使用するドキュメントのタイプ。
 - T = 航空券 / 13桁の航空券番号と1桁のチェックディジット
 - M = MCO / 13桁のMCO番号と1桁のチェックディジット
 - O = その他のバウチャーなど / 2桁から14桁までの英数字
- DOC
 - 14桁のドキュメント番号または英数字。
- CPN
 - このドキュメント番号を使って交換発行されるクーポン番号。
- TTL
 - 手入力されたドキュメント番号の総額。

表示されているデータを確認し、「Action」欄に表示されている「C」でエンターすると「Exchange Element」画面が表示されます。

追徴金徴収に何らかのドキュメントを使用しない場合、このテンプレート画面は不要です。「Final Results」画面の「ADDITIONAL DOCS」欄は「N」の設定になっているため、「Final Results」画面の「ACTION」欄の「C」でエンターすると「Additional Collection」画面は表示されず、「Exchange Element」画面が表示されます。

「Exchange Element」画面 (追徴金あり) <BSP用は7.6参照>

「Exchange Element」画面は交換発行の手続きに必要なその他のデータを入力するものです。「UNUSED PFC」「ORIG ISSUE CITY」「COMM OLD TKT」「COMM ADMIN/PNLTY FEE」「FOP」「APVL CODE」欄以外は、Rapid Repriceによって事前に入力されています。

- ・ 下記は追徴金が必要な場合の「Exchange Element」画面の例です。(BSP用とは一部異なる場合があります)

```

** EXCHANGE ELEMENT SCREEN - REISSUE TEMPLATE **                >VIEW
NAME- WILSON/TEST*ADT 1/1.....
TKT NBR 0001528109032-...-...
UNUSED PFC (.....) (.....) (.....) (.....)
ORIG FOP  CCCA      ORIG DOCUMENT  T0001098765123X
ORIG ISSUE CITY (...) DATE  02FEB13  IATA  123555
COMM OLD TKT  USD   (      )
COMM ADMIN/PNLTY FEE  USD   (      )  BULK TKT Y/N(.)
FOP (.....) APVL CODE (.....)
ACTION (F) F/FILE R/RETURN E/EXIT H/HELP
    
```

Rapid Repriceによって自動的に事前に入力されている欄以外の項目はオプション欄になります。

オプション欄に手入力を行なう場合のフォーマット：

- 「UNUSED PFC」
 - 3桁の空港コードと1桁の未使用のPFC額(最大4まで)。
- 「ORIG ISSUE CITY」
 - オリジナル航空券発券都市(3桁の都市コード)。
- 「COMM OLD TKT」
 - 交換発行されたオリジナル航空券のコミッションにあたる3桁の通貨コードと金額。
- 「COMM ADMIN/PNLTY FEE」
 - 各種手数料/ペナルティチャージのコミッションにあたる3桁の通貨コードと金額。
- 「FOP and APVL CODE」
 - 必要であれば手入力でFOPと承認番号を入力。この欄に手入力されたデータは追徴金徴収の際に使用される。この欄に何も入力しなければ、PNRの5\$欄に入力されているFOPが追徴金徴収に使用される。
- 「BULK TKT Y/N(.)」
 - 「Y」を入力することでバルクチケットとして発券可。

3.2. その他のプロセス画面

3.2.1. 「Old Data」画面

「Old Date」画面は最後に発券された旅程からオリジナルのチケットレコードデータを表示し、PNRに付随している ETR から自動的に表示されます。

例：「Old Data」画面

```

** OLD DATA SCREEN - REISSUE TEMPLATE **                >VIEW
NAME- RINALDI/SALVATORE*GGV 1/1                        ORIG ISSUE  04FEB13
TKT NBR 0007557596049 - - - SALE IND SITI TKT LOC US
CPN NBR ..3. .... IATA/SID
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR FBASIS/T-DSG BF USD ST
01 O XX 0940V 06FEB DENORD 0154P VCA O
02 X XX 0566V 06FEB ORDATL 0610P VCA 122.79 O
SCROLL CMD(...)03 SEGS XF DEN4.5ORD4.5ATL4.5
ZP DENORDATL
TX1 XT 21.00 TX2 US 18.42 TX3 ZP 10.80 SUR(.)
OFOP CCVIXXXXXXXXXXXXX3333 VIEW XT TAX(.)
BASE USD 245.58 EQV OLD TTL USD 295.80
ACTION(C) C/CONFIRM - R/RETURN - E/EXIT - H/HELP

```

「Old Data」画面は「Revised Itinerary」画面の「ACTION」欄に「O」を入力してエンターした場合のみに表示されますが、システムが ETR からオリジナルの運賃データを読み込むことができなかった場合には、Rapid Reprice のプロセスを開始した時に「Revised Itinerary」画面が表示される前に「Old Data」画面が表示されます。

Rapid Reprice がプロセスされる際に、システムがフェアブレイクポイントを確認するためオリジナル航空券の ETR の運賃計算ラダーを解析しています。Rapid Reprice はほとんどの場合において正しく運賃計算ラダーの解析を行っていますが、オリジナル航空券がオートプライシングまたはマニュアルプライシングされていない場合、フェアブレイクポイントを確認することができない場合があります。

オリジナル航空券のフェアブレイクポイントが確認されなかった場合、テンプレートプロセスを進めるにあたって「Old Data」画面に必要なデータを手入力する必要があります。フェアブレイクポイントは運賃額によって指定され運賃計算ラダーのシティペアの後に来ます。手入力する運賃額は ETR を表示し、運賃額のブレイクダウンがある「ENDORSEMENT/FARE CALCULATION」で確認します。

オリジナル航空券の運賃額を確認したら「VIEW」とタイプしてエンターすると「Old Data」画面に戻ります。運賃額はフェアブレイクポイントに対応しているフライトセグメントデータ欄に入力します。

- ・下記は「Old Data」画面にデータ入力が必要な場合の Rapid Reprice のプロセスの例です。この例でのオリジナル航空券は E チケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします。

PNR を表示し、必要な変更を行いません。

エントリ： >*438JPX

レスポンス：

```

1P- 438JPX
1.1SCHMIDT/TEST.L*ADT
1 XX 503L 09FEB MO MCIDEN HK1 946A 1035A/O
2 XX 362T 13FEB FR DENMCI HK1 427P 701P/O

```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ： >X2#0/16FEB

レスポンス：

```

1P- 438JPX
1.1SCHMIDT/TEST.L*ADT
1 XX 503L 09FEB MO MCIDEN HK1 946A 1035A/O
3 XX 362Y 16FEB MO DENMCI SS1 427P 701P/O
    
```

Rapid Reprice で交換発行のプロセスを開始します。

エントリ： >4PLFB-AR

レスポンス：

```

** OLD DATA SCREEN - REISSUE TEMPLATE ** >VIEW
NAME- SCHMIDT/TEST.L*ADT 1/1 ORIG ISSUE 15JAN13
TKT NBR 0007555827790 - - - SALE IND SITI TKT LOC US
CPN NBR 12.. . . . . IATA/SID
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR FBASIS/T-DSG BF USD ST
01 O XX 0503L 09FEB MCIDEN 0946A (LE14A2N/NUP ) I
02 O XX 0362T 13FEB DENMCI 0427P (TE14A1N/NUP ) I
XF MCI4.5DEN4.5
ZP MCIDEN
TX1 XT 14.00 TX2 US 10.26 TX3 ZP 7.20 SUR(.)
OFOP CCAXXXXXXXXXXXXX1006 VIEW XT TAX(.)
BASE USD 136.74 EQV OLD TTL USD 168.20
ACTION(C) C/CONFIRM - R/RETURN - E/EXIT - H/HELP
    
```

この例では、システムはオリジナル航空券のフェアブレイクポイントを確認できなかったため、「BF」欄にデータが入っていない「Old Date」画面が表示されました。テンプレートプロセスを進める前に、フェアブレイクされた運賃額を手入力する必要があります。フェアブレイクのデータは ETR を表示することで確認できます。

エントリ： >*ETA

レスポンス：

```

ETA- ELECTRONIC TICKET ACKNOWLEDGEMENT/AUTHORIZATION
1.XX I 15JAN09 123932 ETR 0007555827790 - SCHMIDT/LORI.L
    
```

エントリ： >ETR1

レスポンス：

```

TICKET 0007555827790 SCHMIDT/LORI.L 438JPX/1P/R48 1193673
CPN FROM/TO FLT DATE FBC STATUS
1 MCIDEN XX503 09FEB13 LE14A2N/NUP OPEN FOR USE
2 DENMCI XX362 13FEB13 TE14A1N/NUP OPEN FOR USE

>ETR VIEW TICKET DATA ( )
>ETR VOID ELECTRONIC TICKET ( )
>ELECTRONIC REFUND AUTHORIZATION REQUEST ( )
>CANCEL/REVERSE EXCHANGE TRANSACTION ( )
>CANCEL/REVERSE REFUND TRANSACTION ( )
    
```

「ETR VIEW TICKET DATA ()」に「X」を入力してエンターします。
 リスpons : (ETR 一部抜粋)

```

**ENDORSEMENT/FARE CALCULATION**

ER:S/CVA TRAVELPORT/ TRAVELPORT/

FARE CALCULATION:                FARE CALC INDICATOR: 6
MKC XX DEN 62.90XX MKC 73.84 USD136.74END XX ZPMCIDEN XT 5.00AY
9.00XFMCIA4.5DEN4.5
  
```

フェアブレイクされた運賃額 (MKC XX DEN 62.90 and DEN XX MKC 73.84) をメモします。

「Old Data」画面に戻るには「VIEW」と入力しエンターします。
 エントリ : >VIEW
 リスpons :

```

** OLD DATA SCREEN - REISSUE TEMPLATE **                >VIEW
NAME- SCHMIDT/TEST.L*ADT 1/1                                ORIG ISSUE 15JAN13
TKT NBR 0007555827790 - - - SALE IND SITI TKT LOC US
CPN NBR 12..      ....      ....      ....      IATA/SID
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR FBASIS/T-DSG BF USD ST
01 O XX 0503L 09FEB MCIDEN 0946A (LE14A2N/NUP 62.90) I
02 O XX 0362T 13FEB DENMCI 0427P (TE14A1N/NUP 73.84) I
      XF MCI4.5DEN4.5
ZP MCIDEN
TX1 XT 14.00 TX2 US 10.26 TX3 ZP 7.20 SUR(.)
OFOP CCAXXXXXXXXXXXXXX1006 VIEW XT TAX(.)
BASE USD 136.74 EQV OLD TTL USD 168.20
ACTION(C) C/CONFIRM - R/RETURN - E/EXIT - H/HELP
  
```

この例では、MCI から DEN までのセグメントに 62.90 を、DEN から MKC までのセグメントに 73.84 を入力しています。

すべてのフェアブレイク額を入力の確認をしたら「ACTION」欄を「C」でエンターし「Revised Itinerary」画面を表示させ、通常のプロセスを続けます。

```

** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE **        >VIEW
NAME- SCHMIDT/TEST.L*ADT 1/1
TKT NBR 0007555827790
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 0503L 09FEB MCIDEN 946A O
02 O XX 0362Y 16FEB DENMCI 427P O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
  
```

「ACTION」欄の「C」をエンターして「Final Results」画面を表示させます。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE                >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT USD 308.62
FARE DIFF USD 158.62 CHANGE FEE USD 150.00

4PLFB-AR|TR
* NON-REFUNDABLE 136.74 USD
* PRICING RULES VALIDATING CARRIER DEFAULT XX
* FARE SELECTED - SR AND PUB
* AC C00000000000000008917
SCROLL CMD(...) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```


3.2.2. 「Supplemental Tax」画面

「Supplemental Tax」画面は「Old Data」画面から表示させます。
「Old Data」画面の「ADDTX」の横に「X」を入力してエンターすると下記のような画面が表示されます。
この画面はデータ表示のみで変更することはできません。

```

** SUPPLEMENTAL TAX SCREEN - REISSUE/REFUND TEMPLATE ** >VIEW
CODE AMOUNT      CODE AMOUNT      CODE AMOUNT
TX1 US    16.60    TX2 ZP    5.00    TX3 XF    6.00
TX4
TX7        TX5
TX10       TX8        TX6
TX13       TX9
TX16       TX11       TX12
TX19       TX14       TX15
          TX17       TX18
          TX20
ACTION(C)  C/CONFIRM - R/RETURN - E/EXIT - H/HELP
    
```

「Old Data」画面に戻るには「ACTION」欄に「C」または「R」を入力してエンターします。

3.2.3. 「Surcharges」画面

「Surcharges」画面は「Old Data」画面から表示させます。
「Old Data」画面の「SUR」の横に「X」を入力してエンターすると下記のような画面が表示されます。
この画面はデータ表示のみで変更することはできません。

```

** SURCHARGES REISSUE TEMPLATE ** >VIEW
SEG CODE  AMOUNT      SEG CODE  AMOUNT
SUR  2    Q    9.30    SUR
SUR  4    Q    9.30    SUR
SUR
SUR
SUR
SUR
SUR
SUR
SUR
SUR
ACTION(C)  C/CONFIRM - R/RETURN - E/EXIT - H/HELP
    
```

「Old Data」画面に戻るには「ACTION」欄に「C」または「R」を入力してエンターします。
「Old Data」画面から「Revised Itinerary」画面に戻るには「ACTION」欄に「C」または「R」を入力してエンターします。

ステップ 4 – 結果の保存

「Exchange Element」画面の「ACTION」欄の「F」をエンターするとテンプレートに入力されたデータがすべてファイル（保存）されます。
何もエラーが出なければ下記の項目がプロセスされます。

- 画面からテンプレートの表示を消します。
- チケットレコードを作成します。
- 交換発行のデータと運賃計算結果の DI (ドキュメントインストラクション) ラインを作成します。
- 旅程の変更を行いません。
- 下記のメッセージを表示します。

```
OK - EXCHANGE INFORMATION ADDED TO 4-DI
- END TRANSACTION TO PERMANENTLY STORE
```

「Exchange Element」画面が保存されても「I (Ignore)」で中断することで旅程の変更のキャンセル、PNR の中断、Rapid Reprice のテンプレートプロセスの中止をすることができます。
交換発行の発券のために Rapid Reprice のテンプレートプロセスの結果を保存するには「**E (EoT)**」で完了をする必要があります。

自動的に作成されたチケットレコード

「Exchange Element」画面が保存されるとチケットレコードが作成され、通常のエントリで表示させることができます。

エントリ： >4*

レスポンス：

```
4PLFB-AR
PNR PRICED ON 04FEB FOR TKTG ON 06FEB
* NON-REFUNDABLE//PENALTY FOR CHANGES
TRIP VALUE DATA EXISTS
ADT 01 TTL-USD 514.44 BF-USD 419.00 TX1- 56.24XT
      TX2- 7.00XY TX3- 32.20US
  DTW XX 565 T 06FEB 926A OK TWENR01 06FEB06FEB 2PC
O MEX XX 564 T 16FEB 225P OK TWENR01 16FEB16FEB 2PC
  DTW
  DTT XX MEX Q30.00 179.50XX DTT
    Q30.00 179.50NUC419.00END
  ROE1.00XX XT5.00XA2.50AY
  19.58UK24.66XD4.50XF DTW4.5
```

自動的に作成されたドキュメントインストラクションライン (4-DI)

「Exchange Element」画面からのデータが保存されると、交換発行の発券に必要なデータが自動的にドキュメントインストラクションライン (4-DI) に作成されます。4-DI ラインはシステムによって作成され PNR に付け加えられます。

フェアギャランティポリシーを適用するためには発券時には Rapid Reprice で作成された DI ラインを使用しなければなりません。

Rapid Reprice のプロセスで自動的に作成された 4-DI ラインには「*DI」の項番にアスタリスク(*) が付きます。

- ・ 下記はシステムが自動的に作成した追徴金とペナルティチャージがある場合の「4-DI」ラインの例です。
(BSP 用とは一部異なる場合があります)

エントリ : >*DI

レスポンス :

<BSP 用は 7.7 参照>

```
DI- *1. |N1.1|$*IET00015281090320*A/O$CCCA/AB0.00X0.00P100.00AT100.00
/OB419.00XXT56.24XXY7.00XUS32.20T514.44/ODT0128123768575X -
1WILSON/TEST
```

- ・ 下記は自動的に作成されたイーブンエクステンジの 4-DI ラインを含む複数の「4-DI」ラインの例です。

エントリ : >*DI

レスポンス :

```
DI- 1. #N1.1#$CCCA1234567890123456*Z84582
DI- 2. #N1.1#K12
DI- *3. #N1.1|$*IET00017296783081*A/O$CK
/OILON27AUG07912321715 -1WILSON/TEST
```

Rapid Reprice によって自動的に作成された DI ラインの変更を行なうと「*DI」の項番に表示されるアスタリスクが削除され、フェアギャランティーポリシーの対象外となります。Rapid Reprice のギャランティーポリシーは >INFOPRICEPOL を参照してください。

ドキュメントインストラクション ヒストリー

システムによって自動的に作成された DI ラインが PNR に付け加えられると、ドキュメントインストラクション ヒストリー (*HDI) に加えられます。

- ・ 下記はシステムによって新たに自動的に作成された DI の項目のドキュメントインストラクション ヒストリーの例です。システムによって新たに自動的に作成された DI ラインが PNR に付け加えられた時に、ヒストリーの中にこの新たな DI の項目が加えられます。

エントリ : >*HDI

レスポンス :

```
R-1P P/
PRG DTE-18APR00
C4B GS BB 1621Z/21FEB00
DX |N1.1|$CK|K9 1P/C4B/BB 21FEB 1622Z
T/21FEB1148 1P/C4B/BB*0011528859672 N1.1
R-P/ -CR- C4B/1P GS BB 21FEB00 1934Z 020C1B ***
DA |N1.1|$*EET0001954123456X*12/OIBOS29DEC993516500
/OB432.00XUS50.00XZP2.00XXF6.00T490.00/KO$25.00N$10.00
RP/ -CR- C4B/1P GS BB 21FEB00 1641Z 020C1B ***
DX |N1.1|ERENDORSEMENTS FROM THE DOCUMENT INSTRUCTIONS
1P/C4B/BB 21FEB 1622Z
T/21FEB1137 1P/C4B/BB*0011528859671 N1.1
RP/ -CR- C4B/1P GS BB 21FEB00 1641Z 020C1B ***
```

ヒストリーの識別子「DA」はその項目が Rapid Reprice (A) での運賃計算プロセスにより PNR に付け加えられたドキュメントインストラクションライン (D) の場合に使用されます。

システムが自動的に作成した DI ラインであることを示すアスタリスクはドキュメントインストラクション ヒストリーには表示されません。

発券前に削除された自動的に作成した DI ラインはドキュメントインストラクション ヒストリーに表示されます。

ステップ 5 – 新しい航空券の発券

テンプレートプロセスが完了し「E (EoT)」で新しい航空券の運賃を保存したら、新しい航空券はEZのエントリと Rapid Reprice が自動で作成した DI ラインを使って簡単に発券することができます、

エントリ： >EZEI#DI1

EZのエントリでは Rapid Reprice が自動で作成した DI ラインと手入力で作成した DI ラインを合わせて使用することができます。

エントリ： >EZEI#DI1/2

ふたつのDIライン項目を選択する際には「DI*」を使用することはできません。EZのエントリで選択できるふたつのDIラインは、手入力で作成した同じ旅客名のふたつのDIか、Rapid Repriceが自動で作成したDIと手入力で作成したDIの同じ旅客名のふたつのDIになります。

Note : DI ラインについての詳細は >HELP/INFO INFODI を参照してください。

その他の例題

6.1. 払い戻しのプロセス

交換発行により払い戻しが発生する場合も、追徴金がある例と同様に Rapid Reprice の5つのステップで進めていきます。下記は払い戻しが発生する場合の Rapid Reprice のプロセスの例です。
この例でのオリジナル航空券はEチケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします。

ステップ1 PNR を表示し必要な変更を行なう

エントリ: >*ABC123

レスポンス:

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
1 XX1265Y 10FEB TU STLMSK HK1 605A 741A/O
2*XX3467Y 20FEB FR MSPSTL HK1 725A 906A/O
P- 1.T4S SEE FILE
T- 1.T/06FEB 1000 1P/T4S/CE DOCUMENTATION COMPLETE
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ: >X2#0/24FEB

レスポンス:

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
1 NXX265Y 10FEB TU STLMSK HK1 605A 741A/O
2*XX3467Y 24FEB TU MSPSTL HK1 725A 906A/O
P- 1.T4S SEE FILE
T- 1.T/06FEB 1000 1P/T4S/CE DOCUMENTATION COMPLETE
```

ステップ2 交換発行のプロセスを開始する

エントリ: >4PLFB-AR

レスポンス: →「テンプレート」表示（「Revised Itinerary」画面）

ステップ3 テンプレートプロセス

「Revised Itinerary」画面

```
** REVISED ITINERARY SCREEN -REISSUE TEMPLATE **
>NAME- WILSON/TEST*ADT 1/1
TKT NBR 0001528109032
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 1265Y 10FEB STLMSK 605A O
02 O XX 3467Y 24FEB MSPSTL 725A O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
```

「ACTION」欄に「C」を入力してエンターすると「Final Results」画面が表示されます。

「Final Results」画面

「Final Results」画面に表示されるデータは新しい航空券に移行され交換発行の手続きに利用されます。

- ・ 下記はペナルティチャージが必要な交換発行の際の「Final Results」画面の例です。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
REFUND AMT USD      268.00
FARE DIFF USD      -268.00          CHANGE FEE USD      0.00

TICKET      BASE USD          TX/FEE USD          TKT TTL USD
  ADT01      1103.26          103.94          1207.20
 *TTL      1103.26          103.94          1207.20

*LOWEST FARE
SCROLL CMD (...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
    
```

交換発行により旅客に払い戻しが発生するので「ADDITIONAL DOCS Y/N」欄は表示されません。

「ACTION」欄で「C」をエンターすると「Exchange Element」画面が表示されます。

「Exchange Element」画面 (払い戻し) <BSP 用は 7.6 参照>

「Exchange Element」画面は交換発行の手続きに必要なその他のデータを入力するものです。「UNUSED PFC」「ORIG ISSUE CITY」「COMM OLD TKT」「COMM ADMIN/PNLTY FEE」「FOP」「APVL CODE」欄以外は、Rapid Repriceによって事前に入力されています。

- ・ 下記は払い戻しが必要な場合の「Exchange Element」画面の例です。(BSP 用とは一部異なる場合があります)
<BSP 用は 7.6 参照>

```

** EXCHANGE ELEMENT SCREEN - REISSUE TEMPLATE ** >VIEW
NAME- WILSON/TEST*ADT 1/1
TKT NBR 0001528109032 - - -
UNUSED PFC (.....) (.....) (.....) (.....)
ORIG FOP CA          ORIG DOCUMENT T0007557334385X
ORIG ISSUE CITY (...) DATE 06FEB13 IATA 3516500
COMM OLD TKT USD ( )
RESIDUAL VALUE MCO (.) Y/N
FOP (.....) APVL CODE (.....)
ACTION (F) F/FILE R/RETURN E/EXIT H/HELP
    
```

交換発行により旅客への払い戻しが発生するので「RESIDUAL VALUE MCO」欄が表示されます。

「RESIDUAL VALUE MCO」欄は入力が必要の欄で、手入力が必要です。

この欄に「Y」を入力すると、航空券の発券時に旅客への払い戻し額の総額分の MCO を発行するプロセスになります。この欄に「N」を入力すると、航空券の発券時に旅客への払い戻し額の総額分をオリジナル航空券の発券に使用した FOP へ戻すプロセスになります。

ステップ4 結果を保存する

「Exchange Element」画面の「ACTION」欄の「F」をエンターするとテンプレートに入力されたデータがすべてファイル(保存)されます。

何もエラーが出なければ下記の項目がプロセスされます。

- 画面からテンプレートの表示を消します。
- チケットレコードを作成します。

- 交換発行のデータと運賃計算結果の DI (ドキュメントインストラクション) ラインを作成します。
- 旅程の変更を行いません。
- 下記のメッセージを表示します。

OK - EXCHANGE INFORMATION ADDED TO 4-DI
- END TRANSACTION TO PERMANENTLY STORE

「Exchange Element」画面が保存されても「I (Ignore)」で中断することで旅程の変更のキャンセル、PNRの中断、Rapid Reprice のテンプレートプロセスの中止をすることができます。
交換発行の発券のために Rapid Reprice のテンプレートプロセスの結果を保存するには「**E (EoT)**」で完了をする必要があります。

自動的に作成されたチケットレコード

「Exchange Element」画面が保存されるとチケットレコードが作成され、通常のエントリで表示させることができます。

エントリ： >4*

レスポンス：

```
4PLFB-AR
PNR PRICED ON 06FEB FOR TKTG ON 07FEB
* NON-REFUNDABLE//PENALTY FOR CHANGES
TRIP VALUE DATA EXISTS
ADT 01 TTL-USD 1207.20 BF-USD 1103.26 TX1- 14.00XT
          TX2- 82.74US TX3- 7.20ZP
STL XX 1265 M 10FEB 605A OK MA3BFN 10FEB10FEB
O MSP XX 3467 M 24FEB 725A OK MA3BFN 24FEB24FEB
STL
STL XX MSP 551.63XX STL 551.63
USD1103.26END XX ZPSTLMSP XT
5.00AY9.00XF STL4.5MSP4.5
```

自動的に作成されたドキュメントインストラクションライン (4-DI)

「Exchange Element」画面からのデータが保存されると、交換発行の発券に必要なデータが自動的にドキュメントインストラクションライン (4-DI) に作成されます。4-DI ラインはシステムによって作成され PNR に付け加えられます。

フェアギャランティポリシーを適用するためには発券時には Rapid Reprice で作成された DI ラインを使用しなければなりません。

- ・下記はシステムが自動的に作成した払い戻しがある場合の「4-DI」ラインの例です。
この例は発券時に旅客への払い戻し額の MCO を発行するために「Exchange Element」画面の「REFUND MCO」欄に「Y」と上書きしたものです。

エントリ： >*DI

レスポンス：

<BSP 用は 7.7 参照>

```
DI- *3. |N1.1|*$EET01215281090320*A/O$CCA
/OB1352.56XXT14.00XUS101.44XZP7.20T1475.20
/ ODT0128123768575X|MCRV*/MA268.00 -WILSON/TEST
```

ステップ 5 新しい航空券を発券する

テンプレートプロセスが完了し「E (EoT)」で新しい航空券の運賃を保存したら、新しい航空券はEZのエントリと Rapid Reprice が自動で作成した DI ラインを使って簡単に発券することができます、

エントリ : >EZEI#DI1

6.2. 一部使用済み航空券の交換発行

一部使用済み航空券の交換発行手続きも、未使用航空券のプロセスと同様に Rapid Reprice の5つのステップで進めていきます。下記は一部使用済み航空券の場合の Rapid Reprice のプロセスの例です。
この例でのオリジナル航空券は E チケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします。

ステップ1 PNR を表示し必要な変更を行なう

エントリ : >*ABC123

レスポンス :

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
3*XX7703V 09FEB MO ATLDEN HK1 828A 958A/O
P- 1.T4S SEE FILE
T- 1.T/06FEB 1000 1P/T4S/CE DOCUMENTATION COMPLETE
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ : >X2#0/10FEB

レスポンス :

```
1P-ABC123
1.1WILSON/TEST@*ADT
3*XX7703V 10FEB TU ATLDEN HK1 828A 958A/O
P- 1.T4S SEE FILE
T- 1.T/06FEB 1000 1P/T4S/CE DOCUMENTATION
COMPLETE
```

ステップ2 交換発行のプロセスを開始する

エントリ : >4PLFB-AR

レスポンス : → 「テンプレート」 表示 (「Revised Itinerary」 画面)

ステップ3 テンプレートプロセス

「Revised Itinerary」 画面

```
** REVISED ITINERARY SCREEN -REISSUE TEMPLATE **
>NAME- WILSON/TEST*ADT 1/1
TKT NBR 0001528109032
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 0940V 06FEB DENORD 154P F
02 X XX 0566V 06FEB ORDATL 610P F
03 O XX 7703Y 10FEB ATLDEN 828A O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
```

Note : 使用済みのセグメントのステータスは「F」となっています。

「ACTION」欄に「C」をエンターすると「Final Results」画面が表示されます。

・下記はペナルティチャージが不要で追加運賃が必要な交換発行の際の「Final Results」画面の例です。

```
TOTAL ADD COLLECT AMT USD      99.99
FARE DIFF USD      99.99          CHANGE FEE USD      0.00

4PLFB-AR
* PRICING RULES VALIDATING CARRIER DEFAULT XX
* SURCHARGE APPLIED *
** 06FEB DEPARTURE DATE/ 06FEB IS LAST DATE TO TICKET

SCROLL CMD(...)                ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
```

「ACTION」欄で「C」をエンターすると「Exchange Element」画面が表示されます。

・下記は追徴金が必要な場合の「Exchange Element」画面の例です。（BSP用とは一部異なる場合があります）

[<BSP用は7.6参照>](#)

```
** EXCHANGE ELEMENT SCREEN - REISSUE TEMPLATE **      >VIEW
NAME- REISSUE/OTTO*ADT 1/1
TKT NBR 0007557334387 - - -
UNUSED PFC (.....) (.....) (.....) (.....)
ORIG FOP CCVI      ORIG DOCUMENT T0007557596049X
ORIG ISSUE CITY (...) DATE 04FEB09 IATA 0666083
COMM OLD TKT USD (      ) COMM NEW TKT USD (      )
FOP (.....) APVL CODE (.....)
ACTION(F) F/FILE R/RETURN E/EXIT H/HELP
```

ステップ4 結果を保存する

「Exchange Element」画面の「ACTION」欄の「F」をエンターするとテンプレートに入力されたデータがすべてファイル（保存）されます。

何もエラーが出なければ下記の項目がプロセスされます。

- 画面からテンプレートの表示を消します。
- チケットレコードを作成します。
- 交換発行のデータと運賃計算結果のDI（ドキュメントインストラクション）ラインを作成します。
- 旅程の変更を行いません。
- 下記のメッセージを表示します。

```
OK - EXCHANGE INFORMATION ADDED TO 4-DI
- END TRANSACTION TO PERMANENTLY STORE
```

「Exchange Element」画面が保存されても「I (Ignore)」で中断することで旅程の変更のキャンセル、PNRの中断、Rapid Repriceのテンプレートプロセスの中止をすることができます。

交換発行の発券のために Rapid Reprice のテンプレートプロセスの結果を保存するには「**E (EoT)**」で完了をする必要があります。

自動的に作成されたチケットレコード

「Exchange Element」画面が保存されるとチケットレコードが作成され、通常のエントリで表示させることができます。

エントリ： >4*

レスポンス：

```
4PLFB-AR
PNR PRICED ON 06FEB FOR TKTG ON 06FEB
TRIP VALUE DATA EXISTS
GGV 01 TTL-USD 395.79 BF-USD 338.60 TX1- 21.00XT
TX2- 25.39US TX3- 10.80ZP
ATL XX 7703 Y 10FEB 828A OK YCA
DEN
DEN XX X/CHI XX ATL 122.79XX
DEN Q55.81 160.00USD338.60END
UA ZPDENORDATL XT7.50AY13.50XF
DEN4.5ORD4.5ATL4.5
```

この例は一部使用済みなので、チケットレコードは未使用のセグメントのみ表示します。しかし、航空会社が出発地からの使用済みセグメントを含んでのすべての旅程で運賃計算をするようにファイルしていると、運賃計算ラダーは上記のようにすべてのセグメントでの運賃計算を表示します。

自動的に作成されたドキュメントインストラクションライン (4-DI)

「Exchange Element」画面からのデータが保存されると、交換発行の発券に必要なデータが自動的にドキュメントインストラクションライン (4-DI) に作成されます。4-DI ラインはシステムによって作成され PNR に付け加えられます。

フェアギャランティポリシーを適用するためには発券時には Rapid Reprice で作成された DI ラインを使用しなければなりません。

エントリ： >*DI

レスポンス：

```
DI- *1. |N1.1|$*IET01215281090320*A/O$CCCA/AB93.02X6.97T99.99
/OB245.58XXT21.00XUS18.42XZP10.80T295.80
/ODT0128123768575X -1WILSON/TEST
```

ステップ5 新しい航空券を発券する

テンプレートプロセスが完了し「E (EoT)」で新しい航空券の運賃を保存したら、新しい航空券はEZのエントリと Rapid Reprice が自動で作成した DI ラインを使って簡単に発券することができます。

エントリ： >EZEI#DI1

BSP での必須事項

一般的に交換発行手続きの運賃計算は ARC の国と BSP の国では同じですが、BSP の国では交換発行の際の発券とレポートは ARC の国とは異なるフォーマットでなければなりません。BSP の国では Rapid Reprice は前述のエントリ、オプション、テンプレートを利用し、加えて BSP 用のプロセスとして下記の必要条件に対応します。

1. マニュアルプライシング(RDP)でのBSPの必要条件に自動的に対応します。
 - a) 税金欄と運賃ラダーの「支払い済」と「未払い」税金
 - b) 「EQUIV Fare Paid」欄に複数の通貨での交換発行の際に相当する通貨コード
 - c) 運賃総額の欄への追徴金額表示または NOADC 表示
2. イーブンエクスチェンジとしての払い戻しのプロセス、払い戻し額がある場合は別途に対処します。
3. BSP 用の「Exchange Elements」画面。
4. BSP の必要条件に従う DI ラインの作成をします。
5. ペナルティの情報と払い戻しの情報のリマークスの作成をします。
6. IATA 標準ではないレポートフォーマットのオプションの作成をします。

7.1. BSP 用のマニュアルプライシング (RDP) の自動化

手作業での入力が必要なくなるように、Rapid Reprice のプロセスでは BSP での交換発行のためのチケットレコードを作成します。「Final Result」画面の交換発行データは下記の BSP 用のフォーマットが反映されます。

- 税金欄と運賃ラダーの「支払い済」「未払い」税金
- 「Equivalent (EQV)」欄の複数の通貨での交換発行の際の通貨コード
- 運賃総額は追徴金額を含めての表示、またはイーブンエクスチェンジ・払い戻しでは NOADC 表示

このデータから Rapid Reprice は BSP のフォーマットに沿ったチケットレコードを作成します。

7.2. 追徴金徴収

- ・ 下記は追徴金が必要な交換発行の際の BSP 用の「Final Results」画面の例です。
この例でのオリジナル航空券はイギリスにおいて E チケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします。

エントリ： >*438JPX

レスポンス：

```
1P- 438MEN
  1.1REISSUE/BSP*ADT
1 XX 959W 10OCT WE LHRDEN HK1 1540 2130 /O
2 XX 938W 20OCT SA DENLHR HK1 1655 1115 |1/O
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ： >X2#0/21OCT

レスポンス：

```
1.1REISSUE/BSP*ADT
1 XX 959W 10OCT WE LHRDEN HK1 1540 2130 /O
2 XX 938W 21OCT SU DENLHR SS1 1655 1115 |1/O
```

エントリ： >4PLFB-AR

レスポンス： →「テンプレート」表示（「Revised Itinerary」画面）

```
** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE ** >VIEW
NAME- REISSUE/BSP*ADT 1/1
TKT NBR 0001729678308
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 0959W 10OCT LHRDEN 340P O
02 O XX 0938W 21OCT DENLHR 455P O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
```

「ACTION」欄に「C」を入力してエンターすると「Final Results」画面が表示されます。

```
** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP 15.00A
FARE DIFF GBP 15.00 CHANGE FEE GBP 0.00

BF GBP TX TX TX TOTAL GBP
GB TAX UB TAX XT TAX
001- 220.00 PD40.00 PD14.30 PD118.60 15.00A
WHXNN55W*WHWNN55W
220.00 PD40.00 PD14.30 PD118.60 15.00A TTL
AS BOOKED
LOWEST FARE ALREADY BOOKED IN THIS COMPARTMENT
ADT LON XX DEN 203.45XX LON 233.22NUC436.67END ROE.503812XX XT PD
91.00YQ1.30AY15.20US2.50XA3.50XY2.80YC2.30XFDEN4.5
4PLFB-AR
SCROLL CMD(...) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
```

- 税金欄と運賃ラダーに「支払い済」「未払い」税金を表示。
- 「Final Results」画面では「支払い済」税金の通貨は表示されず「未払い」税金の通貨は表示される。
- 追徴金額の後に「A」を表示。
- 1Pでは運賃計算欄に「XT」はひとつだけなので「支払い済のXT」は「未払いのXT」とは分離されて「PD」のみの表示となる。
- 変更手数料は情報のみで「TOTAL ADD COLLECT」欄の追徴金総額には含まれない。

7.3. 追徴金とペナルティチャージ

- ・ 下記は追徴金とペナルティチャージが必要な交換発行の際の BSP 用の「Final Results」画面の例です。この例でのオリジナル航空券はイギリスにおいて E チケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします。

エントリ： >*778BEA

レスポンス：

```
*778BEA
  1.1REISSUE/BSPNW*ADT
  1 XX 31V 10OCT WE LGWDTW HK1 1350 1725 /O E
  2 XX 32V 17OCT WE DTWLGW HK1 2125 1005 |1/O E
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ： >X2#0/18OCT

レスポンス：

```
*778BEA
  1.1REISSUE/BSPNW*ADT
  1 NW 31V 10OCT WE LGWDTW HK1 1350 1725 /O E
  2 NW 32V 18OCT TH DTWLGW SS1 2125 1005 |1/O
```

エントリ： >4PLFB-AR

レスポンス： → 「テンプレート」表示（「Revised Itinerary」画面）

```
** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE ** >VIEW
NAME- REISSUE/BSPNW*ADT 1/1
TKT NBR 0001796740514
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 0031V 10OCT LGWDTW 150P O
02 O XX 0032V 18OCT DTWLGW 925P O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
```

「ACTION」欄に「C」を入力してエンターすると「Final Results」画面が表示されます。

```
** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP 50.00A
FARE DIFF GBP 50.00 CHANGE FEE GBP 168.61

          BF GBP    TX      TX      TX      TOTAL GBP
          GB TAX    UB TAX    XT TAX
001-    486.00    PD40.00    PD7.20    PD102.70    50.00A
      QJPNATL
          486.00    PD40.00    PD7.20    PD102.70    50.00A TTL *
LOWEST FARE
ADT LON XX DTT 482.32XX LON 482.32NUC964.64END ROE.503812XX XT
PD1.20AY15.00US2.50XA3.50XY2.70YC75.60YR2.20XFDTW4.5
* REBOOK 01/ Q 02/ Q
ALL SEGMENTS MUST BE CONFIRMED
SCROLL CMD(...) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
```

- 税金欄に「支払い済」税金を表示。
- 「TOTAL」欄に「A」つけて追徴金の総額を表示。
- 変更手数料は情報のみで「TOTAL ADD COLLECT」欄の追徴金総額には含まれない。

7.4. 払い戻しのプロセス

BSP での交換発行はイーブンエクスチェンジまたは追徴金ありとしてのみプロセスされます。払い戻しは払い戻しのための別の手続きを行いつつイーブンエクスチェンジとしてプロセスされます。変更手数料とキャンセル料は交換発行の計算には含まれません。これらの手数料は交換発行の手続きとは別にして徴収します。

- ・下記は払い戻しが必要な交換発行の際の BSP 用の「Final Results」画面の例です。この例でのオリジナル航空券はイギリスにおいて E チケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします

エントリ： >*438JPX

レスポンス：

```
1P- 4327HT
  1.1REISSUE/BSP*ADT
  1 XX 53Y 10JAN TH AMSDTW HK1 1540 1840 /O
  2 XX 40Y 15JAN TU DTWAMS HK1 1600 0555 |1/O
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ： >X2#0/21OCT

レスポンス：

```
1P- 4327HT
  1.1REISSUE/BSP*ADT
  1 XX 53Y 10JAN TH AMSDTW HK1 1540 1840 /O
  2 XX 40Y 13JAN SU DTWAMS SS1 1600 0555 |1/O
```

エントリ： >4PLFB-AR

レスポンス： → 「テンプレート」 表示（「Revised Itinerary」画面）

```
** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE ** >VIEW
NAME- REISSUE/BSP*ADT 1/1
TKT NBR 0001796740521
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 0053Y 10JAN AMSDTW 340P O
02 O XX 0040Y 13JAN DTWAMS 400P O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
```

「ACTION」欄に「C」を入力してエンターすると「Final Results」画面が表示されます。

```
** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
REFUND AMT GBP 1585.00
FARE DIFF GBP -1585.00 CHANGE FEE GBP 0.00

      BF EUR    TX      TX      TX      EQV      TOTAL GBP
      AY TAX    US TAX   XT TAX   GBP
001-  370.00   PD1.20  PD15.00 PD115.90      NOADC
      VLSX3NL
      370.00   PD1.20  PD15.00 PD115.90      NOADC
TTL *LOWEST FARE
ADT AMS XX DTT 249.05XX AMS 249.04NUC498.09END ROE.742833XX XT
PD2.50XA3.50XY2.70YC7.30CJ8.80RN1.30VV87.60YR2.20XFDTW4.5
* REBOOK 01/ V 02/ V
SCROLL CMD(...)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
```

- 税金欄に「支払い済」税金を表示。
- 「EQV」欄に交換発行を行なった場所の通貨コード。
- 変更手数料は情報のみで払い戻し総額には含まれない。

払い戻しが必要な BSP での交換発行には別途の手続きが必要です。
「Exchange Element」画面にデータを入力をするとそのレスポンスとして下記のメッセージが表示されます。
(払い戻しについてのメッセージは 7.8 を参照)

```
OK - EXCHANGE INFORMATION ADDED TO 4-DI
SEE PNR REMARKS - 5.Z - FOR CHANGE FEE/RESIDUAL VALUE INFO
- END TRANSACTION TO PERMANENTLY STORE
```

7.5. 払い戻しとペナルティチャージ

- ・下記は払い戻しとペナルティチャージが必要な交換発行の際の BSP 用の「Final Results」画面の例です。
この例でのオリジナル航空券はイギリスにおいて E チケットで発券され、有効な ETR は PNR に付随しているものとします

エントリ： >*438JPX

レスポンス：

```
1P- 4327HT
1.1REISSUE/BSP*ADT
1 XX 959B 15JUL TH LHRORD HK1 1520 1840 /O
2 XX 958M 22JUL SA ORDLHR HK1 1600 0555 |1/O
```

不要なセグメントをキャンセルし、新しいセグメントを入れます。

エントリ： >X2#0/21OCT

レスポンス：

```
1P- 4327HT
1.1REISSUE/BSP*ADT
1 XX 959B 15JUL TH LHRORD HK1 1520 1840 /O
2 XX 958M 23JUL SU ORDLHR HK1 1600 0555 |1/O
```

エントリ： >4PLFB-AR

レスポンス： → 「テンプレート」表示（「Revised Itinerary」画面）

```
** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE ** >VIEW
NAME- REISSUE/BSP*ADT 1/1
TKT NBR 0005763882414
S X A/L FLT/COS DATE FROM/TO DPTR ST
01 O XX 0959B 15JUL LHRORD 320P O
02 O XX 0958M 23JUL ORDLHR 400P O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
```


「ACTION」欄に「C」を入力してエンターすると「Final Results」画面が表示されます。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
REFUND AMT GBP      252.00
FARE DIFF GBP     -252.00          CHANGE FEE GBP      75.00

          BF GBP      TX          TX          TX          EQV          TOTAL GBP
          GB TAX      UB TAX      XT TAX      GBP
001-      458.00      PD40.00      PD19.70      PD189.00          NOADC
  WHXNCGBW
          458.00      PD40.00      PD19.70      PD189.00          NOADC
TTL GBP
LOWEST FARE
ADT LON XX CHI 448.81XX LON448.80NUC897.61END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
SCROLL CMD(...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
    
```

- 税金欄に「支払い済」税金を表示。
- 「EQV」欄に交換発行を行なった場所の通貨コード。
- 変更手数料は情報のみで払い戻し総額には含まれない。

払い戻しと追加のペナルティチャージの徴収が必要な BSP での交換発行には別途の手続きが必要です。
「Exchange Element」画面にデータを入力をするとそのレスポンスとして下記のメッセージが表示されます。
(払い戻しについてのメッセージは 7.8 を参照)

```

OK - EXCHANGE INFORMATION ADDED TO 4-DI
SEE PNR REMARKS - 5.Z - FOR CHANGE FEE/RESIDUAL VALUE INFO
- END TRANSACTION TO PERMANENTLY STORE
    
```

7.6. BSP 用「Exchange Element」画面へのデータ入力

「Exchange Element」画面は交換発行に必要なデータを入力する画面です。
この画面のデータは新しい航空券の発券時に選択する「4-DI」ラインの作成に使用されます。
BSP での交換発行の必要条件は ARC とは異なるので、BSP 用と ARC 用では「Exchange Element」画面は異なります。

ARC 用「Exchange Element」画面

```

** EXCHANGE ELEMENT SCREEN - REISSUE TEMPLATE **      >VIEW
NAME- REISSUE/BSP*ADT 1/1
TKT NBR 0001729678308 - - -
UNUSED PFC (.....) (.....) (.....) (.....)
ORIG FOP CK          ORIG DOCUMENT T0001729678308X
ORIG ISSUE CITY (...) DATE 27AUG13 IATA 9123217
COMM OLD TKT USD (      )
FOP (.....) APVL CODE (.....)
ACTION (F) F/FILE R/RETURN E/EXIT H/HELP
    
```

BSP 用「Exchange Element」画面

```

** EXCHANGE ELEMENT SCREEN - REISSUE TEMPLATE **      >VIEW
NAME- REISSUE/BSP*ADT 1/1
TKT NBR 0001729678308 - - -

ORIG FOP CK          ORIG DOCUMENT T0001729678308X
ORIG ISSUE CITY (...) DATE 27AUG13 IATA 9123217

FOP (.....) APVL CODE (.....)
ACTION (F) F/FILE R/RETURN E/EXIT H/HELP
    
```

「Exchange Element」画面は交換発行の手続きに必要なその他のデータを入力するものです。
「ORIG ISSUE CITY」「FOP」「APVL CODE」欄以外は事前に入力されています。
これらの欄にはデータの入力が必要です。

- 「ORIG ISSUE CITY」
 - 3桁の都市コード（オプションですが航空会社によっては必須になります）
- ・ この欄には有効な都市コードの入力が必要です。空欄のまま残しておくと下記のエラーが表示されます。
ORIG ISSUE CITY REQUIRED
- ・ 「ORIG ISSUE CITY」欄には3桁のアルファベットを入力します。特殊な文字を入れると下記のエラーが表示されます。
INVALID DATA IN THE ORIG ISSUE FIELD
- 「FOP」と「APVL CODE」
 - この欄はオプションですが、データがあれば入力をしてください。
入力された「FOP」と「APVL CODE」のデータは追徴金徴収に使用されます。
「FOP」と「APVL CODE」が空欄だと、追徴金徴収の際には PNR の「5\$」のデータが FOP として使用されます。

7.7. 自動的に作成されたドキュメントインストラクションライン (4-DI)

「Exchange Element」画面からのデータが保存されると、交換発行の発券に必要な BSP 用のデータが自動的にドキュメントインストラクションライン (4-DI) に作成されます。4-DI ラインはシステムによって作成され PNR に付け加えられます。フェアギャランティポリシーを適用するためには発券時には Rapid Reprice で作成された DI ラインを使用しなければなりません。

ARC 用「DI」ライン

```
DI- *1. |N1.1|*$*IET00015281090320*A/O$CCCA
      /AB0.00X0.00P100.00AT100.00
      /OB419.00XXT56.24XXY7.00XUS32.20T514.44
      /ODT0128123768575X -1WILSON/TEST
```

BSP 用「DI」ライン

```
DI- *1. |N1.1|*$*IET00017296783081*A/O$CK
      /OILON27AUG13912321715 -1WILSON/TEST
```

BSP 用では、以下が必須項目です。

- \$*IE イーブンエクスチェンジではないドキュメント
または
- \$*EE イーブンエクスチェンジまたは払い戻しのドキュメント (BSP 必須項目)
- /OI オリジナル航空券発券都市 – 日付(ddmmyy) – IATA 番号
- /O\$CCCA または /O\$CK オリジナル航空券の支払い手段

7.8. 変更手数料と残存額の PNR リマークス

いくつかの手続きにおいて、BSP では変更手数料/キャンセル料は別の手続き方法で徴収し、残存額は別の手続き方法で払い戻しをすることになっています。別の手続き方法で変更手数料/キャンセル料を徴収する、または残存額を払い戻しをする必要がある BSP での交換発行手続きでは、「Exchange Element」画面にデータ入力をするとそのリスポンスとして下記のメッセージが表示されます。

```
OK - EXCHANGE INFORMATION ADDED TO 4-DI
SEE PNR REMARKS - 5.Z - FOR CHANGE FEE/RESIDUAL VALUE INFO
- END TRANSACTION TO PERMANENTLY STORE
```

Rapid Reprice は「Exchange Element」画面にデータが入力されると、ユニークリマークスの PTC ごとの変更手数料/払い戻し額を更新します。

変更や削除がされると、「5.Z」のリマークスは PNR の履歴に反映します。

・下記はユニークリマークスとして PNR に追加された変更手数料/キャンセル料と残存額の例です。

1名の大人 (ADT) の変更手数料 :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
```

複数の大人 (ADT) の変更手数料 :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
    2.RR N2.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
```

複数の PTC (ADT/CNN) の変更手数料 :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
    2.RR N1.2 10AUG13 CNN 25.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
```

1名の大人 (ADT) の払い戻し :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
```

複数の大人 (ADT) の払い戻し :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
    2.RR N2.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
```

複数の PTC (ADT/CNN) の払い戻し :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
    2.RR N1.2 10AUG13 CNN 27.50 GBP REFUND AMOUNT
```

1名の大人 (ADT) の払い戻しと変更手数料 :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
    2.RR N1.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
```

複数の大人 (ADT) の払い戻しと変更手数料 :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
    2.RR N1.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
    3.RR N2.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
    4.RR N2.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
```

複数の PTC (ADT/CNN) の払い戻しと変更手数料 :

```
MZ- 1.ZRR N1.1 10AUG13 ADT 50.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
    2.ZRR N1.1 10AUG13 ADT 55.00 GBP REFUND AMOUNT
    3.ZRR N1.2 10AUG13 CNN 25.00 GBP CHANGE FEE APPLIES
    4.ZRR N1.2 10AUG13 CNN 27.50 GBP REFUND AMOUNT
```

残存額なし :

```
MZ- 1.RR N1.1 10AUG13 ADT NO RESIDUAL VALUE PER CARRIER
```

7.9. IATA の標準フォーマットではないペナルティチャージ額徴収オプション

Rapid Reprice でのプロセスで、ペナルティチャージ額の徴収とレポートを IATA の標準ではないフォーマットで行うことができるオプションが3つあります

- ① **>4P-AR#NI1** または **>4PLFB-AR#NI1** = 運賃総額にペナルティ額を加える。
- ② **>4P-AR#NI2** または **>4PLFB-AR#NI2** = ペナルティ額を XP タックスとする。
- ③ **>4P-AR#Nixx** または **>4PLFB-AR#Nixx** = 'xx' に 2 文字のコードを入れてペナルティ額とする。
例：'CP' がペナルティ徴収のコードと指定された場合のエントリは **>4P-AR#NPCP** または **>4PLFB-AR#NICP** となる。

これらのオプションが最初の交換発行のエントリで使用されなかった場合は、Rapid Reprice でのプロセスは前述の IATA の標準フォーマットとなります。

例：ペナルティ額は運賃総額欄には含まれませんがリマークスに反映し、別の手続きによって徴収されます。

Rapid Reprice によって作成されたドキュメントインストラクションライン (DI) はこれら3つのオプションには影響されません。

7.9.1. 交換発行により運賃差額とペナルティの徴収が必要な場合の例

オリジナル ETR :

```

TKT NBR: 0005763882413      NAME:REISSUE/BSP
                                NBR OF TKTS ISSUED: 1   TTL NBR OF SEGS: 02

CP N  FRM/TO A/L FLT  COS DATE   TIME  ST FBC          S
01-  LHR ORD XX    959 W   15JUL13  320P OK  WHXNCGBW      O
                                NV 15JUL/15JUL
02-O  ORD LHR XX    958 W   22JUL13  400P OK  WHXNCGBW      O
                                NV 22JUL/22JUL

**ENDORSEMENT/FARE CALCULATION**

ER:NONREF/NONEND/NONTRANS/CHANGE

FARE CALCULATION:                FARE CALC INDICATOR: 9
LON XX CHI 448.81XX LON 448.80NUC897.61END ROE.510239XX XT 16)>
00YQ1.30AY15.60US2.50XA 3.50XY2.80YC2.30XFORD4.5

**FARE BREAKDOWN/FOP/TOUR CODE**

*TKT FARE DATA*                *AUDITOR*
BASE:GBP 458.00                 BASE:GBP 458.00
TAX: GB 40.00                   TAX: GB 40.00
TAX: UB 19.70                   TAX: UB 19.70
TAX: XT 189.00                  TAX: XT 189.00
TTL:GBP 706.70                  TTL:GBP 706.70

```

「Revised Itinerary」画面 :

```

** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE **      >VIEW
NAME- REISSUE/BSP*ADT 1/1
TKT NBR 0005763882413
S  X A/L FLT/COS DATE  FROM/TO DPTR          ST
01 O XX 0959W 15JUL LHRORD 320P          O
02 O XX 0958M 22JUL ORDLHR 400P          O
ACTION(C)  C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP

```

- ① >4P-AR#NI1 または >4PLFB-AR#NI1
 運賃差額とペナルティ額の合計が運賃総額欄に入ります。

「Final Results」画面：

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄に運賃差額とペナルティ額の合計が入り、運賃総額に反映します。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP      170.00
FARE DIFF GBP      95.00          CHANGE FEE GBP      75.00

      BF GBP      TX      TX      TX      TOTAL GBP
      GB TAX      UB TAX      XT TAX
001-  553.00    PD40.00    PD19.70    PD189.00    170.00A
                                           WHXNCGBW
                                           MHXNCGBW
      553.00    PD40.00    PD19.70    PD189.00    170.00A TTL GBP

ADT LON XX CHI 448.81XX LON634.01NUC1082.82END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
SCROLL CMD(...)          ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

チケットレコード：

```

4P-AR
PNR PRICED ON 01JUL FOR TKTG ON 04JUL BY AGT-CE/5TQ
* NON-REFUNDABLE 553.00 GBP
  TRIP VALUE DATA EXISTS  OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-GBP 170.00A BF-GBP 553.00 TX1- 40.00GB PD
EQV-  TX2- 19.70UB PD TX3- 189.00XT PD
  LHR XX 959 W 15JUL 320P OK WHXNCGBW 15JUL15JUL 2PC
O ORD XX 958 M 22JUL 400P OK MHXNCGBW 22JUL22JUL 2PC
  LHR
  LON XX CHI 448.81XX LON
  634.01NUC1082.82END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY
  15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
  
```

- ② >4P-AR#NI2 または >4PLFB-AR#NI2
 運賃差額とペナルティ額の合計が運賃総額欄に入り、ペナルティ額が「XP」タックスとして反映します。
 「XP」タックスは FARE DIFF 欄には含まれません。

「Final Result」画面：

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄に運賃差額とペナルティ額の合計が入り、運賃総額に反映します。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP      170.00
FARE DIFF GBP      95.00          CHANGE FEE GBP      75.00

      BF GBP      TX      TX      TX      TOTAL GBP
      GB TAX      UB TAX      XT TAX
001-  553.00    PD40.00    PD19.70    75.00    170.00A
                                           WHXNCGBW
                                           MHXNCGBW
      553.00    PD40.00    PD19.70    PD189.00    170.00A TTL GBP

ADT LON XX CHI 448.81XX LON634.01NUC1082.82END ROE.510239
  XX XT75.00XP PD161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
SCROLL CMD(...)          ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

チケットレコード :

```

4P-AR
  PNR PRICED ON 01JUL FOR TKTG ON 04JUL BY AGT-CE/5TQ
  * NON-REFUNDABLE 553.00 GBP
  TRIP VALUE DATA EXISTS   OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-GBP 170.00A BF-GBP 553.00 TX1- 40.00GB PD
  EQV- TX2- 19.70UB PD TX3- 75.00XT
  LHR XX 959 W 15JUL 320P OK WHXNCGBW 15JUL15JUL 2PC
O ORD XX 958 M 22JUL 400P OK MHXNCGBW 22JUL22JUL 2PC
  LHR
  LON XX CHI 448.81XX LON
  634.01NUC1082.82END ROE.510239
  XX XT75.00XP PD161.00YQ1.30AY
  15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
  
```

③ >4P-AR#Nlxx または >4PLFB-AR#Nlxx

ペナルティ額/変更手数料を 'OD' のタックスコードとして徴収するエントリ例 :
>4PLFB-AR#NIOD

ペナルティ額/変更手数料が総額とともに タックスの 'OD' コードとして表示されます。
'xx' は指定されたどのアルファベット 2 文字でも入力できます。

「Final Result」画面 :

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP 169.00
FARE DIFF GBP 69.00 CHANGE FEE GBP 100.00

TICKET BASE GBP TX/FEE GBP TKT TTL GBP
ADT01 272.00 100.00 169.00A
*TTL 272.00 100.00 169.00A

*LOWEST FARE
FBC ADT SLWNCGB0*QLWNCGB0
ADT LON XX CHI 178.56XX LON267.84NUC446.40END ROE.610424
  XX XT100.00OD PD111.00YQ1.60AY20.00US3.10XA
  4.40XY3.40YC2.80XF ORD4.5
  TX 100.00OD PD 45.00GB 22.97UB 111.00YQ 1.60AY 20.00US 3.10XA 4 40XY
  3.40YC 2.80XF
* REBOOK 02/ Q
ALL SEGMENTS MUST BE CONFIRMED
CK SEGS BOOKED COMPLY WITH TKTG TL RULE
SCROLL CMD(...) ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
>
  
```

7.9.2. 交換発行により運賃差額の徴収が必要でペナルティがない場合の例

① >4P-AR#NI1 または >4PLFB-AR#NI1

運賃差額が運賃総額欄に入ります。

「Final Results」画面：

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄に運賃差額が入り、運賃総額に反映します。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE                                >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP          95.00
FARE DIFF GBP          95.00          CHANGE FEE GBP          0.00

      BF GBP      TX      TX      TX      TOTAL GBP
      GB TAX      UB TAX      XT TAX
001-  553.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00    95.00A
                                     WHXNCGBW
                                     MHXNCGBW
      553.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00    95.00A TTL GBP

ADT LON XX CHI 448.81XX LON634.01NUC1082.82END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
SCROLL CMD(...)                      ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

チケットレコード：

```

4P-AR
PNR PRICED ON 01JUL FOR TKTG ON 04JUL BY AGT-CE/5TQ
* NON-REFUNDABLE 553.00 GBP
  TRIP VALUE DATA EXISTS      OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-GBP  95.00A  BF-GBP  553.00  TX1-   40.00GB PD
  EQV-      TX2-   19.70UB PD  TX3-  189.00XT PD
  LHR XX   959 W  15JUL  320P OK WHXNCGBW      15JUL15JUL 2PC
O ORD XX   958 M  22JUL  400P OK MHXNCGBW      22JUL22JUL 2PC
  LHR
LON XX CHI 448.81XX LON
634.01NUC1082.82END ROE.510239
XX PD XT161.00YQ1.30AY
15.60US2.50XA3.50XY2.80
YC2.30XF ORD4.5
  
```


- ② >4P-AR#NI2 または >4PLFB-AR#NI2
 運賃差額が運賃総額欄に入ります。

「Final Result」画面：

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄に運賃差額が入り、運賃総額に反映します。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP      95.00
FARE DIFF GBP      95.00          CHANGE FEE GBP      0.00

      BF GBP      TX      TX      TX      TOTAL GBP
      GB TAX      UB TAX      XT TAX
001-  553.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00    95.00A
                                   WHXNCGBW
                                   MHXNCGBW
      553.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00    95.00A TTL GBP

ADT LON XX CHI 448.81XX LON634.01NUC1082.82END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
SCROLL CMD(...)          ADDITIONAL DOCS Y/N (N)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

チケットレコード：

```

4P-AR
PNR PRICED ON 01JUL FOR TKTG ON 04JUL BY AGT-CE/5TQ
* NON-REFUNDABLE 553.00 GBP
  TRIP VALUE DATA EXISTS  OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-GBP  95.00A  BF-GBP  553.00  TX1-  40.00GB PD
  EQV-      TX2-  19.70UB PD  TX3-  189.00XT PD
  LHR XX  959 W  15JUL  320P OK WHXNCGBW      15JUL15JUL 2PC
O ORD XX  958 M  22JUL  400P OK MHXNCGBW      22JUL22JUL 2PC
  LHR
  LON XX CHI 448.81XX LON
  634.01NUC1082.82END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY
  15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
  
```

7.9.3. 交換発行により運賃差額の徴収がなくペナルティが必要の場合の例

- ① >4P-AR#NI1 または >4PLFB-AR#NI1 :
ペナルティ額が運賃総額欄に入ります。

「Final Results」画面：

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄にペナルティ額が入り、運賃総額に反映します。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP      75.00
FARE DIFF GBP      0.00          CHANGE FEE GBP      75.00

      BF GBP   TX      TX      TX      TOTAL GBP
      GB TAX   UB TAX   XT TAX
001-  458.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00    75.00A
                                WHXNCGBW
      458.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00    75.00A TTL GBP

ADT LON XX CHI 448.81XX LON448.80NUC897.61END ROE.510239
   XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80YC2.30XF ORD4.5
SCROLL CMD(...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
    
```

チケットレコード：

```

4P-AR
PNR PRICED ON 01JUL FOR TKTG ON 04JUL BY AGT-CE/5TQ
* NON-REFUNDABLE 553.00 GBP
TRIP VALUE DATA EXISTS  OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-GBP 75.00A BF-GBP 553.00 TX1- 40.00GB PD
EQV- TX2- 19.70UB PD TX3- 189.00XT PD
LHR XX 959 W 15JUL 320P OK WHXNCGBW 15JUL15JUL 2PC
O ORD XX 958 M 22JUL 400P OK MHXNCGBW 22JUL22JUL 2PC
LHR
LON XX CHI 448.81XX LON
634.01NUC1082.82END ROE.510239
XX PD XT161.00YQ1.30AY
15.60US2.50XA3.50XY2.80
YC2.30XF ORD4.5
    
```

- ② >4P-AR#NI2 または >4PLFB-AR#NI2
ペナルティ額が運賃総額欄に入り、'XP' タックスとして反映します。
'XP' タックスは「FARE DIFF」欄には含まれません。

「Final Result」画面：

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄にペナルティ額が入り、運賃総額に反映します。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP      75.00
FARE DIFF GBP      0.00          CHANGE FEE GBP      75.00

      BF GBP   TX      TX      TX      TOTAL GBP
      GB TAX   UB TAX   XT TAX
001-  458.00  PD40.00  PD19.70    75.00    75.00A
                                WHXNCGBW
      458.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00    75.00A TTL GBP

ADT LON XX CHI 448.81XX LON448.80NUC897.61END ROE.510239
   XX XT75.00XP PD161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
   YC2.30XF ORD4.5
SCROLL CMD(...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
    
```

チケットレコード :

```

4P-AR
PNR PRICED ON 01JUL FOR TKTG ON 04JUL BY AGT-CE/5TQ
* NON-REFUNDABLE 553.00 GBP
  TRIP VALUE DATA EXISTS   OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-GBP   75.00A  BF-GBP   553.00  TX1-   40.00GB PD
  EQV-          TX2-   19.70UB PD  TX3-   75.00XT
  LHR XX   959 W   15JUL  320P OK WHXNCGBW           15JUL15JUL 2PC
O ORD XX   958 M   22JUL  400P OK MHXNCGBW           22JUL22JUL 2PC
  LHR
LON XX CHI 448.81XX LON
634.01NUC1082.82END ROE.510239
XX XT75.00XP PD161.00YQ1.30AY
15.60US2.50XA3.50XY2.80
YC2.30XF ORD4.5
  
```

③ >4P-AR#Nlxx または >4PLFB-AR#Nlxx

ペナルティ額/変更手数料を 'OD' のタックスコードとして徴収するエントリ例 :
>4PLFB-AR#NIOD

ペナルティ額/変更手数料が総額とともに タックスの 'OD' コードとして表示されます。
'xx' は指定されたどのアルファベット 2 文字でも入力できます。

「Final Result」画面 :

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE                                >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP           100.00
FARE DIFF GBP           0.00                CHANGE FEE GBP           100.00

TICKET      BASE GBP                TX/FEE GBP                TKT TTL GBP
ADT01        645.00                   100.00                   100.00A
*TTL         645.00                   100.00                   100.00A

FBC ADT MHXNCGB0
ADT LON XX CHI 528.32XX LON528.32NUC1056.64END ROE.610424
  XX XT100.00OD PD1.60AY20.60US3.20XA4.50XY3.50
  YC2.90XF ORD4.5
  TX 100.00OD PD 45.00GB 22.97UB 1.60AY 20.60US 3.20XA 4.50XY 3.5
0YC 2.90XF

SCROLL CMD(...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

7.9.4. 交換発行により運賃差額の払い戻しとペナルティ徴収が必要の場合の例

オリジナル ETR :

```

TKT NBR: 0005763882414      NAME:REISSUE/BSP
                                NBR OF TKTS ISSUED: 1    TTL NBR OF SEGS: 02

CP N  FRM/TO A/L FLT  COS DATE    TIME  ST FBC          S
01-  LHR ORD XX    959 B  15JUL13  320P OK BHXNCGBW          O
                                NV 15JUL/15JUL
02-O  ORD LHR XX    958 B  22JUL13  400P OK BHXNCGBW          O
                                NV 22JUL/22JUL

**ENDORSEMENT/FARE CALCULATION**

ER:NONREF/NONEND/NONTRANS/CHANGE

FARE CALCULATION:              FARE CALC INDICATOR: 9
LON XX CHI 695.75XX LON 695.75NUC1391.50END ROE.510239UA XT 1)>
.00YQ1.30AY15.60US2.50XA 3.50XY2.80YC2.30XFORD4.5

**FARE BREAKDOWN/FOP/TOUR CODE**

*TKT FARE DATA*              *AUDITOR*
BASE:GBP 710.00      BASE:GBP 710.00
TAX: GB 40.00       TAX: GB 40.00
TAX: UB 19.70       TAX: UB 19.70
TAX: XT 189.00      TAX: XT 189.00
TTL:GBP 958.70      TTL:GBP 958.70
    
```

「Revised Itinerary」画面 :

```

** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE **      >VIEW
NAME- REISSUE/BSP*ADT 1/1
TKT NBR 0005763882414
S  X A/L FLT/COS DATE  FROM/TO DPTR          ST
01 O XX 0959B  15JUL LHRORD  320P          O
02 O XX 0958M  23JUL ORDLHR  400P          O
ACTION(C)  C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP
    
```

① >4P-AR#NI1 または >4PLFB-AR#NI1 :

払い戻し額がリマークス欄に入り、ペナルティ額が運賃総額欄に入ります。

「Final Results」画面 :

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄にペナルティ額が入り、ペナルティ額は運賃総額に反映します。
払い戻し額は「FARE DIFF」欄にはマイナス (-) 額として反映し、別の手続きで MCO を発行する際の参考になるようリマークス欄に入ります。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE      >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP 75.00
FARE DIFF GBP -252.00      CHANGE FEE GBP 75.00

          BF GBP      TX          TX          TX          TOTAL GBP
          GB TAX      UB TAX      XT TAX
001-    458.00    PD40.00    PD19.70    PD189.00    75.00A
                                WHXNCGBW
          458.00    PD40.00    PD19.70    PD189.00    75.00A TTL GBP
LOWEST FARE
ADT LON XX CHI 448.81XX LON448.80NUC897.61END ROE.510239
XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80YC2.30XF ORD4.5
    
```

```
* REBOOK 01/ W 02/ W
SCROLL CMD(...)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
```

チケットレコード :

```
4PLFB-AR
PNR PRICED ON 02JUL FOR TKTG ON 15JUL
* NONREF/NONEND/NONTRANS/CHANGE FEE APPLIES
TRIP VALUE DATA EXISTS OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-75.00A BF-GBP 458.00 TX1- 40.00GB PD
EQV- TX2- 19.70UB PD TX3- 189.00XT PD
LHR XX 959 W 15JUL 320P OK WHXNCGBW 15JUL15JUL
O ORD XX 958 W 23JUL 400P OK WHXNCGBW 23JUL23JUL
LHR
LON XX CHI 448.81XX LON
448.80NUC897.61END ROE.510239
XX PD XT161.00YQ1.30AY
15.60US2.50XA3.50XY2.80
YC2.30XF ORD4.5
```

② >4P-AR#NI2 または >4PLFB-AR#NI2

払い戻し額がリマークス欄に入り、ペナルティ額は運賃総額欄に'XP' タックスとして反映します。
'XP' タックスは「FARE DIFF」欄には含まれません。

「Final Result」画面 :

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄にペナルティ額が入り、ペナルティ額は運賃総額に反映します。
払い戻し額は「FARE DIFF」欄にはマイナス (-) 額として反映し、別の手続きで MCO を発行する際の参考になるようリマークス欄に入ります。

```
** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP 75.00
FARE DIFF GBP -252.00 CHANGE FEE GBP 75.00

BF GBP TX TX TX TOTAL GBP
GB TAX UB TAX XT TAX
001- 458.00 PD40.00 PD19.70 75.00 75.00A
WHXNCGBW
458.00 PD40.00 PD19.70 PD189.00 75.00A TTL GBP
LOWEST FARE
ADT LON XX CHI 448.81XX LON448.80NUC897.61END ROE.510239
XX XT75.00XP PD161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
YC2.30XF ORD4.5
* REBOOK 01/ W 02/ W
SCROLL CMD(...)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
```

チケットレコード :

```
4PLFB-AR
PNR PRICED ON 02JUL FOR TKTG ON 15JUL
* NONREF/NONEND/NONTRANS/CHANGE FEE APPLIES
TRIP VALUE DATA EXISTS OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-75.00A BF-GBP 458.00 TX1- 40.00GB PD
EQV- TX2- 19.70UB PD TX3- 189.00XT PD
LHR UA 959 W 15JUL 320P OK WHXNCGBW 15JUL15JUL
O ORD UA 958 W 23JUL 400P OK WHXNCGBW 23JUL23JUL
LHR
LON UA CHI 448.81UA LON
448.80NUC897.61END ROE.510239
UA XT75.00XP PD161.00YQ1.30AY
15.60US2.50XA3.50XY2.80
YC2.30XF ORD4.5
```

③ >4P-AR#Nlxx または >4PLFB-AR#Nlxx

ペナルティ額/変更手数料を 'OD' のタックスコードとして徴収するエントリ例：
>4PLFB-AR#NIOD

払い戻し額はリマークス欄に入り、ペナルティ額は運賃総額欄に 'OD' コードとして表示されます。

「Final Result」画面：

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP      100.00
FARE DIFF GBP      -114.00          CHANGE FEE GBP      100.00

TICKET      BASE GBP      TX/FEE GBP      TKT TTL GBP
ADT01      531.00      100.00      100.00
*TTL      531.00      100.00      100.00

*LOWEST FARE
FBC ADT MHXNCGB0*WHXNCGB0
ADT LON XX CHI 528.32XX LON341.56NUC869.88END ROE.610424
  XX XT100.00OD PD XT1.60AY20.60US3.20XA4.50XY3.50YC2.90XF
  ORD4.5
  TX 100.00OD PD 45.00GB 22.97UB 1.60AY 20.60US 3.20XA 4.50XY 3.50YC 2.90XF

SCROLL CMD(...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

7.9.5. 交換発行により運賃差額の払い戻しが必要でペナルティは不要の場合の例

① >4P-AR#NI1 または >4PLFB-AR#NI1 :

払い戻し額がリマークス欄に入り、「NOADC」が運賃総額欄に入ります。

「Final Results」画面：

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄に「NOADC」が入り、「NOADC」は運賃総額に反映します。
払い戻し額は「FARE DIFF」欄にはマイナス (-) 額として反映し、別の手続きで MCO を発行する際の参考になるようリマークス欄に入ります。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP      NOADC
FARE DIFF GBP      -252.00          CHANGE FEE GBP      0.00

      BF GBP      TX      TX      TX      TOTAL GBP
      GB TAX      UB TAX      XT TAX
001-  458.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00      NOADC
      WHXNCGBW
      458.00  PD40.00  PD19.70  PD189.00      NOADC TTL

LOWEST FARE
ADT LON XX CHI 448.81XX LON448.80NUC897.61END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
* REBOOK 01/ W 02/ W
SCROLL CMD(...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

チケットレコード :

```

4PLFB-AR
PNR PRICED ON 02JUL FOR TKTG ON 15JUL
* NONREF/NONEND/NONTRANS/CHANGE FEE APPLIES
  TRIP VALUE DATA EXISTS   OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-NOADC           BF-GBP   458.00  TX1-   40.00GB PD
EQV-                       TX2-   19.70UB PD  TX3-  189.00XT PD
  LHR XX   959 W   15JUL  320P OK WHXNCGBW           15JUL15JUL
O ORD XX   958 W   23JUL  400P OK WHXNCGBW           23JUL23JUL
  LHR
  LON XX CHI 448.81XX LON
  448.80NUC897.61END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY
  15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
  
```

② >4P-AR#NI2 または >4PLFB-AR#NI2

払い戻し額がリマークス欄に入り、「NOADOC」が運賃総額欄に入ります。

「Final Result」画面 :

「TOTAL ADD COLLECT AMT」欄に「NOADOC」が入り、「NOADOC」は運賃総額に反映します。
払い戻し額は「FARE DIFF」欄にはマイナス (-) 額として反映し、別の手続きで MCO を発行する際の参考になるようリマークス欄に入ります。

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE                                >VIEW
TOTAL ADD COLLECT AMT GBP          NOADC
FARE DIFF GBP      -252.00                CHANGE FEE GBP      0.00

          BF GBP      TX          TX          TX          TOTAL GBP
          GB TAX      UB TAX      XT TAX
001-      458.00      PD40.00      PD19.70      PD189.00          NOADC
                                     WHXNCGBW
          458.00      PD40.00      PD19.70      PD189.00          NOADC TTL
LOWEST FARE
ADT LON XX CHI 448.81XX LON448.80NUC897.61END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
* REBOOK 01/ W 02/ W
SCROLL CMD(...)
ACTION(C)  R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
  
```

チケットレコード :

```

4PLFB-AR
PNR PRICED ON 02JUL FOR TKTG ON 15JUL
* NONREF/NONEND/NONTRANS/CHANGE FEE APPLIES
  TRIP VALUE DATA EXISTS   OD-LHR/LHR
ADT 01 TTL-NOADC           BF-GBP   458.00  TX1-   40.00GB PD
EQV-                       TX2-   19.70UB PD  TX3-  189.00XT PD
  LHR XX   959 W   15JUL  320P OK WHXNCGBW           15JUL15JUL
O ORD XX   958 W   23JUL  400P OK WHXNCGBW           23JUL23JUL
  LHR
  LON XX CHI 448.81XX LON
  448.80NUC897.61END ROE.510239
  XX PD XT161.00YQ1.30AY
  15.60US2.50XA3.50XY2.80
  YC2.30XF ORD4.5
  
```

その他の情報

8.1. ロケーションによる制限

ARC の国のワールドスパンで発券した航空券は BSP の国のワールドスパンでの交換発行が可能です。BSP の国のワールドスパンで発券した航空券の ARC の国のワールドスパンでの交換発行はできません。BSP の国のワールドスパンで発券した航空券を ARC の国のワールドスパンで交換発行をすると、下記のエラーが返ります。

UNABLE TO PROCESS - REISSUE LOCATION NOT VALID

8.2. Tag I プロセス

Tag I プロセスは現在の運賃でこれから利用するセグメントだけの運賃計算の結果を表示する Rapid Reprice の初期設定です。

Tag I プロセスが旅客にとって最適の結果であれば交換発行の手続きは必要ではありません。

Tag I プロセスが旅客にとって最適の結果であれば、「Final Results」画面にデータを入力する際に下記のメッセージが表示されます。

```
EXCHANGE TRANSACTION NOT REQUIRED
- AUTOMATED RAPID REPRICE DI LINE NOT CREATED
- END TRANSACTION TO STORE FARE FOR NEW TKT
- ORIGINAL TKT MAY HAVE VALUE FOR FUTURE TVL
```

「Tag I」は以下の2通りに適用されます。

A：変更が航空会社がカテゴリ-31 にファイルしたどの運賃再計算の指示と合わない場合。

または

B：Tag I プロセスの結果の額が航空会社がカテゴリ-31 にファイルした他のどの運賃再計算の指示を下回るため、これから利用するセグメントが現在の運賃を使って運賃計算した方がいい場合。

Tag I プロセスでの結果は交換発行とならないので、「Final Results」画面とチケットレコードは BSP の交換発行の必須事項を使ってのフォーマットにはなりません。

8.3. コンジャンクションチケット番号

コンジャンクションチケットの E チケットレコード (ETR) の場合、「Revised Itinerary」画面の「TKTNBR」欄には自動的に該当する 3 桁のコンジャンクションチケット番号が入力されていますが、交換発行/再運賃計算のプロセスを始める時には最初の航空券番号が使用されます。

8.4. 複数の E チケットレコード (ETR)

>4P-AR または >4PLFB-AR のエントリで Rapid Reprice のプロセスが開始され、1 人の旅客に対して複数の有効な航空券が ETR にある場合には、どの航空券番号を交換発行するのかを選択しなければなりません。航空券番号が選択されなかった場合は下記のエラーが返ります。

MULTIPLE ETRS EXIST - USE TICKET NUMBER OPTION

エントリ : >4P-AR#0159010089110

レスポンス :

```

** REVISED ITINERARY SCREEN - REISSUE TEMPLATE **
NAME- MCWILLIAMS/DON*ADT 1/1
TKT NBR 0009010089110
S   X  A/L  FLT/COs  DATE  FROM/TO  DPTR  ST
01  O  XX   0766T   08DEC  MCISTL   835A  O
02  X  XX   0059T   08DEC  STLPHX   1135A  O
03  O  XX   0520T   12DEC  PHXSTL   810A  O
04  O  XX   0411T   12DEC  STLNCI   108P  O
ACTION(C) C/CONFIRM - O/OLD DATA - E/EXIT - H/HELP

```

>4P-AR#TKTNUMBER のオプションは有効な ETR が存在するがオリジナルの PNR がすでにない場合にも使用できます。新しい旅程での PNR を作成し、このオプションを使って既存の ETR からのデータの入った「Old Data」画面を表示させることができます。

8.5. プライシングインストラクション (PI)

交換発行/再運賃計算を開始するエントリを入力した時に PNR に「PI」が入っていると、下記のエラーが表示されます。

```

PI/S EXIST - USE TR PARAMETER OR REMOVE PI/S

```

その際には「#TR」を付加してエントリを再入力してください。

- ・下記は「#TR」をつけての交換発行/再運賃計算のエントリの例です。

エントリ : >4P-AR#TR >4PLFB-AR#TR >4PLFB-AR#0151000839712#TR

8.6. ウェイパープロセス

トラベルポートのウェイパープロセスは航空旅行業界レベルでATPCOがウェイパーを導入する以前にトラベルポートが開発したプロダクトです。

一般的に、航空会社は災害などが起きた時にその影響を受けたマーケットの航空券に適用するウェイパーのテーブルを作成します。ウェイパープロセスは、Rapid Repriceのプロセスが開始された時に交換発行をする航空券が何らかのウェイパーのテーブルの条件を満たしているか（オリジナル航空券が災害地を出発・到着としているかなど）を常に確認しています。

交換発行をする航空券が航空会社が指定したウェイパーのテーブルの条件を満たしていた場合、Rapid Reprice プロセスは航空会社のウェイパー項目の条件によりペナルティ額を免除または割引きます。

交換発行をする航空券が航空会社が指定したウェイパーのテーブルの条件を満たしていない場合は、ウェイパープロセスは適用されず Rapid Reprice プロセスは通常のまま続けられます。

Rapid Reprice プロセスでウェイパーが適用された場合、適用されるウェイパーコードとそのウェイパーの簡単な説明がチケットレコードに入ります。ウェイパーコードは新しい航空券が発券されるとエンドースメント欄にも表示されます。

8.7. エラーリスpons

Rapid Reprice のエラーリスponsは下記の HELP/INFO ページで参照できます。

エラーリスpons	参照ページ
一般的なエラー： A - I	>INFO 4P-ARERR
一般的なエラー： J - Z	>INFO 4P-ARERRCON
交換発行エラー： 説明 1	>INFO 4P-ARERR1
交換発行エラー： 説明 2	>INFO 4P-ARERR2
交換発行エラー： 説明 3	>INFO 4P-ARERR3
交換発行エラー： 説明 4	>INFO 4P-ARERR4

8.8. 通貨の上書きオプション

<ルーマニアのみ>ここでは削除

8.9. PTC を無効にするオプション

エントリ： >4PLFB-AR#@@PTC

PTC を無効にする運賃計算のオプションは Rapid Reprice プロセスと合わせることは現在できません。特定の PTC が適用される新たな運賃は制限されなければなりません。

Rapid Reprice で PTC 無効にするオプションを使うようにするためには開発が必要になっています。

オリジナルの旅程：

```

1P- N83HOZ
1.1REISSUE/PTCOVERRIDE*FIF
1 XX7634N 02MAR SA CDGBOD HK1 355P 510P/O
2 XX6263N 16MAR SA BODORY HK1 105P 215P/O
P- 1.T4S NONE
    
```

変更後の旅程：

```

1P- N83HOZ
1.1REISSUE/PTCOVERRIDE*FIF
1 XX7634N 02MAR SA CDGBOD MK1 355P 510P/O
2 XX6263N 09MAR SA BODORY MK1 105P 215P/O
P- 1.T4S NONE
    
```

PTC を無効にするオプションを使わないエントリ： >4PLFB-AR

最安値を検索するオプションで Rapid Reprice を開始するとそのキャビンでの最も安い運賃を取り、この場合は「ADT」の PTC が有効な「N3SAPFR」の運賃になります。

リスpons： 「Final Results」画面

```

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE >VIEW
REFUND AMT EUR 14.00
FARE DIFF EUR -14.00 CHANGE FEE EUR 0.00

TICKET BASE EUR TX/FEE EUR TKT TTL EUR
FIF01 104.00 52.19 NOADC
*TTL 104.00 52.19 NOADC

FBC FIF N3SAPFR
SCROLL CMD(...)
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP
    
```

「N3SAPFR」の運賃ルール（一部表示）の有効な PTC :

PARBOD-AF 29JUN12	*RULE DISPLAY*	TARIFF 0304 RULE FRAP			
* ADD APPLICABLE TAX * FED INSP FEES *					
001-FARE BASIS	EUR	NUC		PTC	FT GI
N3SAPFR	R	104.00	137.11	ADT	EX EH

PTC を「FIF」の運賃のままとしておくエントリ : >4PLFB-AR#@@PTC

プロセスは PTC は「FIF」でなければならないより高額の「NPFFR」運賃を取ってきます。

** FINAL RESULTS SCREEN - REISSUE TEMPLATE						>VIEW
REFUND AMT EUR		0.00				
FARE DIFF EUR		0.00	CHANGE FEE EUR		0.00	
TICKET	BASE EUR		TX/FEE EUR	TKT TTL EUR		
FIF01	118.00		52.19	170.19		
*TTL	118.00		52.19	170.19		
FBC FIF NPFFR						
SCROLL CMD(...)						
ACTION(C) R/RETURN C/CONFIRM D/DETAIL E/EXIT H/HELP						

「NPFFR」の運賃ルール（一部表示）の有効な PTC :

PARBOD-AF 05JUL12	*RULE DISPLAY*	TARIFF 0849 RULE FRPF			
* ADD APPLICABLE TAX * FED INSP FEES *					
014-FARE BASIS	EUR	NUC		PTC	FT GI
NPFFR		59.00	77.78	FIF	PR EH
NPFFR/CH		45.00	59.32	CNN	PR EH

よくある質問

Q1: 新しい航空券を発券するのになぜこのような長いエントリを入力しなければならないのですか？

```
>EZELI#SI-#S$X#@C1#HV#RL#$*IET1323513385344X*34/OIGDL13FEB098650971/O$CA
```

A1: いいえ、必要ありません。発券には Rapid Reprice が作成した DI ラインのデータが入っている DI ラインのオプションを使ってください。

DI ラインの表示エントリ : >*DI
 リスpons :

```
DI- *1. |N1.1|$*IET00035133795421*A/O$CA/OIGDL12FEB138650971
      -PENA/JOSEMANUEL
```

新しい航空券の発券に必要なすべてのデータと交換発行の手続きの BSP へのレポートは Rapid Reprice が作成した DI ラインに含まれています。

Rapid Reprice が作成した DI ラインのデータを入れて発券する DI ラインオプションを使った発券エントリ例 :
 >EZELI#SI-#S\$X#@C1#HV#RL#DI1

Q2: Rapid Reprice を開始する時に以下のエントリを入れたらエラーが返ったのはなぜですか？

```
>EZELI#SI-#S$X#@C1#HV#RL
リスpons : MULTIPLE DI/S EXIST - SPECIFY DI NUMBER
```

A2: 複数の DI ラインが存在する時には DI を指定しなければなりません。

DI ラインの表示エントリ : >*DI
 リスpons :

```
DI- *1. |N1.1|$*IET00035133795421*A/O$CA/OIGDL12FEB138650971
      -1PENA/JOSEMANUEL
DI- *2. |N1.1|$*IET00035133795421*A/O$CA/OIGDL12FEB138650971
      -1PENA/JOSEMANUEL
DI- *3. |N1.1|$*IET00035133795421*A/O$CA/OIGDL12FEB138650971
      -1PENA/JOSEMANUEL
```

どの DI ラインを使って発券するかを指定したら、発券のエントリに DI ライン番号を入れてください。
 >EZELI#SI-#S\$X#@C1#HV#RL#DI3

Q3: Rapid Reprice を開始する時に以下のエントリを入れたらエラーが返ったのはなぜですか？

```
>EZELI#SI-#S$X#@C1#HV#RL#DI*1
リスpons : CK FORMAT
```

**A3: 間違った DI ラインのオプションが使われているからです。
 Rapid Reprice が作成した DI ラインを使って発券する正しいエントリ :**

```
>EZELI#SI-#S$X#@C1#HV#RL#DI1
```

Q4: Rapid Reprice を開始する時に以下のエントリを入れたらエラーが返ったのはなぜですか？

```
>EZELI#SI-#S$X#@C1#HV#RL#DI
レスポンス: INVALID DI NUMBER
```

**A4: 間違った DI ラインのオプションが使われているからです。
Rapid Reprice が作成した DI ラインを使って発券する正しいエントリ：**

```
>EZELI#SI-#S$X#@C1#HV#RL#DI1
```

Q5: Rapid Reprice を開始する時に以下のエントリを入れたらエラーが返ったのはなぜですか？

```
>EZELI#SI-HS$X#@C1#HV#RL#DI
レスポンス: CK FORMAT
```

**A5: 発券指示のエントリにオプションを追加した場合、それらは正しいフォーマットでなければなりません。
この例では「#SI-#S\$X」ではなく「#SI-HS\$X」と入力されています。
追加オプションを使って発券する正しいエントリ：**

```
>EZELI#SI-#S$X#@C1#HV#RL#DI1
```

Q6: 以下のエントリで旅程表/インボイスをリクエストした時にエラーが返ったのはなぜですか？

```
>EZL#DI1
レスポンス: /O$DATA NOT ALLOWED ON LLI
```

**A6: Rapid Reprice が作成した DI ラインを使って LLI (旅程表/インボイス) 自体をリクエストすることはできません。
Rapid Reprice が作成した DI ラインには交換発行手続きを BSP にレポートするオプションがありますが、
旅程表/インボイスには有効ではありません。**

発券時に>EZEL#DI1 のエントリで旅程表/インボイスを発行してください。このエントリで航空券の発券と旅程表/インボイスの発行を同時に行なうことができます。このエントリを使い、その後もう一度旅程表/インボイスが必要になったら、>DUP*I123456 または >DUP*DH5 のエントリの例のように再度発行することができます。

Q7: 旅程全体をキャンセルして別のクラスで取り直そうとしましたができませんでした。どうしたらいいですか？

A7: 特定の便のクラスに空席がない場合は、上のクラス（例：Y）を取り、Low Fare Finder のエントリ >4PLFB-AR を使ってください。

Rapid Reprice の Low Fare Finder は交換発行時に空席状況に基づいたより低い運賃を検索します。

**Q8: 旅程全体をキャンセルして別のクラスで取り直そうとしましたが Rapid Reprice は他のクラスを取ってきました。
どうしたらいいですか？**

A8: 予約クラス通りのエントリ >4P-AR を使用してください。

予約クラス通りのエントリは新しい旅程に対して予約されているクラスに有効な運賃の運賃計算のみを行いません。

Q9: すでにある DI ラインを削除するにはどうしたらいいですか？

A9: DI ラインは >4-DI@1 (1 は削除したい DI ラインの番号) のエントリで削除できます。

Q10: すでにある DI ラインを無効にするにはどうしたらいいですか？

A10: DI ラインを無効にするには発券の際に >#DIX のエントリを加えて入力してください。

Q11: すでにシステムから消えてしまっている航空券に対して Rapid Reprice を使うにはどうしたらいいですか？

A11: PNR はシステムから消えていて見ることができないが ETR はまだ有効である場合 (例: 航空券はすべて使用されておらずこれから使用するクーポンステータスが "OPEN FOR USE" である) は、新しい旅程の PNR を作成し、オリジナル航空券のデータを使う #E-TKT NBR のオプションを使ってください。

>4P-AR#1394397593857 または >4PLFB-AR#1394397593857

入力する航空券番号はオリジナル航空券のもので。

Q12: 公示運賃、公示と非公示運賃、非公示運賃を指定して Rapid Reprice のエントリを使った時、Rapid Reprice はどの運賃を選択しますか？

A12: 公示運賃を選択するエントリ (>4P-AR と >4PLFB-AR) :

1. オリジナルの運賃が公示運賃であれば、Rapid Reprice は公示運賃のみを取ってきます。
2. オリジナルの運賃が非公示運賃であれば、Rapid Reprice は公示運賃または非公示運賃のうちより低い運賃を取ってきます。

公示運賃と非公示運賃を選択するエントリ (>4P-AR#FSR と >4PLFB-AR#FSR) :

1. オリジナルの運賃が公示運賃であれば、Rapid Reprice は公示運賃または非公示運賃のうちより低い運賃を取ってきます。
2. オリジナルの運賃が非公示運賃であれば、Rapid Reprice は公示運賃または非公示運賃のうちより低い運賃を取ってきます。

非公示運賃を選択するエントリ (>4P-AR#FSR.SR と >4PLFB-AR#FSR.SR) :

1. オリジナルの運賃が公示運賃であれば、Rapid Reprice は非公示運賃のみを取ってきます。
2. オリジナルの運賃が非公示運賃であれば、Rapid Reprice は非公示運賃のみを取ってきます。